令和７年度事業報告書

（P.1～99）

社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会

目　　次

令和７年度　事業報告 ..... P. 1
主な重点事業
1　住民支え合い活動づくり事業（市受託事業） ..... P. 2~3
2　住民支え合い事業 ..... P. 4
3　つどいの場創出支援事業（市受託事業） ..... P. 5
4　災害ボランティアセンター運営事業 ..... P. 6~7
5　年末年始　地域ささえあい助成事業 ..... P. 8~9
6　就労体験事業 ..... P. 10
7　生活・就労支援センター運営事業（市受託事業） ..... P. 11~13
8　生活困窮者生活サポート事業 ..... P. 14~16
9　法人後見事業 ..... P. 17~18
10　日常生活自立支援事業（あんしんサポート／県社協受託事業） ..... P. 19~20
11　生活支援相談員等配置事業（県社協受託事業） ..... P. 21
12　いわき市子育て世帯ヘルパー派遣事業（市受託事業） ..... P. 22

基本理念「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、
健康で自分らしく暮らせるまち いわき」

◇基本目標１　共に生きる社会をつくるために ..... P. 23~43
◇基本目標２　支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために ..... P. 44~66
◇基本目標３　健康で自分らしい暮らしをつくるために ..... P. 67~72
◇組織および組織運営 ..... P. 72~76
◇財源および財務運営 ..... P. 77~79
◇職員体制および職員研修 ..... P. 79~84

関係資料

◇住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況 ..... P. 85
◇住民支え合い活動実施状況（第３層協議体） ..... P. 86~88
◇いわき市ボランティア活動助成状況 ..... P. 89~90
◇社会福祉センター利用状況 ..... P. 91
◇福祉総合相談センター各相談実績報告 ..... P. 92~93
◇生活福祉資金地区別取扱い状況一覧 ..... P. 94
◇ホームヘルプセンター事業実施状況 ..... P. 95
◇会員会費推進状況 ..... P. 96~97
◇福島県共同募金会いわき市共同募金委員会実績 ..... P. 98
◇福島県共同募金会いわき市共同募金委員会
歳末たすけあい募金実績・配分結果 ..... P. 99

令和７年度 事業報告

令和７年度は、物価高騰や雇用不安の影響による生活困窮や社会的孤立、ＤＶ・児童虐待の増加など、地域における福祉課題が一層深刻化しつつあるなかで、団塊の世代が75歳以上となる「2025年問題」が現実化し、医療・介護・福祉、とりわけ生活支援分野において、支援需要が急速に高まる転換期となった。また、全国各地で地震や集中豪雨などの自然災害が相次ぎ、地域防災と福祉の連携強化が求められる１年となった。

このような状況のもと、いわき市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）では、地域福祉の中核を担う組織としての使命を果たすべく、第４次地域福祉活動計画（令和３年策定）及び事業方針に掲げる４つの重点項目に基づき、地域の実情に即した事業展開を進めた。特に関係機関との連携・協働を強化しながら「住民支え合い事業」をはじめ地区協議会が実施する多様な地域福祉活動の推進に努めた。

また、支援を必要とする市民に対しては、「日常生活自立支援事業（あんしんサポート）」、「法人後見事業」、「介護保険サービス事業」等を通じ、切れ目のないサービス提供に取り組んだ。さらに、コロナ禍以降、複合化・複雑化した課題を抱える市民からの相談に対し、真摯に向き合い、関係機関と連携した重層的な相談支援を実施するとともに必要に応じて「生活・就労支援センター」や「生活困窮者生活サポート事業」へつなぐなど、本会の持つ機能を最大限に活かし、組織横断的な体制で支援に努めた。

これらの取り組みを通じて、地域の課題解決に向けた包括的な支援体制とネットワークの構築を進め、本会の基本理念である「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち　いわき」の実現に向け、着実に事業を推進した。

以下、主な重点事業及び第４次地域福祉活動計画に基づく事業実施状況について、報告します。

主な重点事業

1　住民支え合い活動づくり事業（市受託事業）

地域住民や企業など多様な主体による生活支援サービスの充実をめざし、地域で暮らす高齢者をはじめ、子育て世代、子どもや障がい者など何らかの関わりやつながりを必要とする方々にどのような支援が求められているのかを共に考え、できる・やりたい・必要と考える「住民支え合い活動」の創出を支援。

(1)　実施体制

ア　総括生活支援コーディネーター　　1名（地域福祉課）
イ　地域福祉コーディネーター　　13名（市内13圏域の各地区協議会に配置）
ウ　生活支援コーディネーター　　7名（地区保健福祉センター内の地区協議会に配置）

(2)　住民支え合い生活支援サービスの実施

高齢者等が抱えている生活課題や困り事に対応するため、必要な生活支援サービス（ゴミ出し・片付け・電球交換など）を提供し、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援

※住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況については、関係資料P85

(3)　担当者会議の実施

ア　年13回開催
イ　第2層協議体会議の開催状況に関する情報共有
ウ　住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認

(4)　第2層協議体の設置・運営

ア　第2層協議体の設置
　13圏域（旧市町村）に設置
イ　第2層協議体の構成員
　20名程度で構成
　主な構成員は、行政嘱託員（区長）民生児童委員　老人クラブ　青年会　婦人会　民間企業　社会福祉法人　協同組合　NPO法人　ボランティアグループ　支え合い活動実践者　行政等
ウ　第2層協議体の開催状況
　年2回から3回開催
　※各地区の開催状況は次頁参照

(5)　第2層協議体における取り組み

ア　住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認
イ　第3層協議体による支え合い活動の状況確認
ウ　新たに住民支え合い活動に関心を示す行政区などへの働きかけ

【第２層協議体会議開催状況】

地区名	第15回	第16回	第17回	構成員数	地区名	第15回	第16回	第17回	構成員数
平	６月 19 日	12 月２日	３月４日	19	小 川	７月30日 (第17回)	12月３日 (第18回)	—	20
小名浜	７月 22 日	11 月 18 日	２月 20 日	22	好 間	７月30日	11月25日	３月３日	24
勿 来	９月 10 日	12 月２日	３月 24 日	21	三 和	８月21日 (第17回)	11月20日 (第18回)	—	18
常 磐	８月 22 日	11 月 28 日	３月 12 日	24	田 人	８月26日 (第17回)	12月３日 (第18回)	—	22
内 郷	８月１日	12 月 11 日	３月 16 日	19	川 前	７月31日 (第17回)	３月17日 (第18回)	—	16
四 倉	７月 29 日	11 月 27 日	３月４日	20	久之浜・大久	８月７日 (第17回)	12月４日 (第18回)	３月18日 (第19回)	25
遠 野	８月７日 (第 19 回)	11 月 23 日 (第 20 回)	３月10日 (第 21 回)	23	合 計				273

成果

各地区における第２層協議体の取組としては、令和６年度と同様に各地区の実情に応じた年間テーマを設定のうえ協議を重ねたことで、第３層協議体の新規立ち上げや新たな住民支え合い生活支援サービスの構築に向け、各団体と地域課題等について協議し、情報共有を図ることができた。

また、住民支え合い生活支援サービスにおいては、令和６年度と比較すると、相談件数、実利用者数は減少しているが、ゴミ出し等の継続的なサービスは増加傾向にあり、地域での見守り体制の構築が徐々に図られてきていると考える。

課題

サポーター登録者数は横ばいで推移しており、新たな担い手の確保や世代交代の促進が依然として課題となっている。相談件数の減少も見られることから、サービスの周知や情報発信の方法を工夫し、地域住民に認識されるよう取り組む必要がある。加えて、各地区の第２層協議体などを通じて地域住民の意見を丁寧に聞き取り、地域の実情に応じた柔軟で効果的な支援体制の構築に向けた検討が必要である。

2　住民支え合い事業

地区協議会に配置の地域福祉コーディネーター（地区職員兼務）が生活支援コーディネーターと連携し、地域住民の生活圏域である行政区・自治会・小学校圏域を指定し、新たな第３層協議体（住民組織）の設置及び支え合い活動を支援。

(1)　事業内容

行政区・自治会・小学校区等における活動

ア　地域の福祉課題や生活支援ニーズの解決に向けて協議する協議体の設置
イ　避難行動要支援者マップを作成し、支援対象者の把握や地域資源を確認
ウ　住民支え合い活動への理解を深めるための研修会の開催
エ　支え合いサポーターの養成・登録
オ　日常的な見守りや声掛け、話し相手などの訪問活動
カ　住民同士の交流の場（つどいの場）の創出と展開
キ　生活支援（ごみ出し、窓拭き、買物代行等）を実施
ク　その他関係する活動

※住民支え合い活動実施状況（第３層協議体）については、関係資料Ｐ86～Ｐ88

成果

つどいの場や民生児童委員協議会定例会、第２層協議体における協議テーマなど、様々な機会で本事業の説明や取り組みに向けた検討を行ったことで、新たに８地区を立ち上げることができた。

また、立ち上げには至らないものの、前向きに検討してもらえた地区もあり、事業に対する理解を深めることができた。

課題

第３層協議体では、サポーターの高齢化や担い手の固定化が見られ、新規サポーターの確保が引き続き課題となっている。活動は継続しているものの、担い手不足により活動の広がりに結びつきにくい状況がある。

また、現役世代の参加は依然として少なく、活動時間や関わり方の面でハードルが高く参加が難しいことも一因と考えられる。地区によって活動状況に差も見られることから、地域の実情に応じた活動内容の見直しや、参加しやすい環境づくりに向けた支援が求められる。

今後は、第２層協議体との連携を図りながら、地域主体の活動が継続できるよう、協議体の運営や担い手づくりに対する働きかけを行っていく必要がある。

3　つどいの場創出支援事業（市受託事業）

高齢者を年齢や、身体の状態によって分け隔てることなく、誰もが気軽に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指し、介護予防に役立つ活動を地域の実情に応じて充実させ、人と人とのつながりをとおして、参加者やつどいの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進。

⑴　実施体制

地域福祉コーディネーター　18名（市内13圏域の各地区協議会に配置）

⑵　実施内容

ア　地域資源の整理
イ　コーディネート支援（活動プログラムに関する助言・講師派遣調整など）
ウ　つどいの場サポーターの養成
エ　はたらきかけ支援（新たに活動を検討する地域住民等に対する相談支援など）
オ　運営支援
カ　関係機関との情報共有

＜地区別実施状況（補助金申請団体）＞

地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数	地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数	地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数
平 (64)	1,939 24,405	四倉 (23)	418 3,949	田人 (9)	163 1,471
小名浜 (43)	944 10,163	遠野 (9)	143 1,262	川前 (7)	103 541
勿来 (33)	831 7,694	小川 (13)	200 2,216	久之浜・大久 (6)	135 894
常磐 (17)	416 5,025	好間 (15)	264 2,519	合　計 (269)	6,121 66,030
内郷 (22)	489 5,174	三和 (8)	76 717		

（令和6年度：272箇所／6,141回／64,413名）

成果

空白地域や地域住民が集まる場の機会等に働きかけを行った結果、新たに10団体が活動を開始することができた。また、参加人数も前年比：1,617人と増えており、実施地域における事業のさらなる拡充を図ることができた。

課題

新たに10箇所が立上った一方、代表者や参加者の高齢化により、つどいの場を継続できずに廃止となる所も増えてきている。

今後も継続が難しくなるケースの増加が考えられることから、関係機関と協働・連携のもと、各つどいの場の状況把握に努め、地域の特性に応じたサポート体制の強化と整備を図っていきたい。

4　災害ボランティアセンター運営事業

大規模災害時の対応として、全国社会福祉協議会及び福島県社会福祉協議会からの要請に基づき、災害ボランティアセンター運営支援に職員派遣等を行うとともに、本市からの被災地域で活動するボランティアに対してボランティア活動保険の保険料を助成。

また、大規模災害に備え協働型の災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施。

(1) 大規模災害への職員派遣

要請なし

(2) ボランティア活動保険の助成

申請なし

(3) 災害ボランティア養成研修会

ア　基礎編

実 施 日　令和７年 10 月 26 日（日）

実施内容　①災害ボランティアセンターについて

講師：福島県社会福祉協議会　地域福祉部　地域共生課職員

②マイ避難推進講習会

講師：福島県地域防災サポーター　深谷　美徳氏

参加者数　18 名

イ　実践編

実 施 日　令和７年 11 月 15 日（土）

実施内容　①災害ボランティアセンター設置・運営訓練

講師：いわき市社会福祉協議会職員

②災害時の資器材と土のうの作り方

講師：災害支援ネットワークいわき

参加者数　36 名（研修参加者 15 名、災害支援ネットワークいわき５名、市職員２名、社会福祉協議会職員 14 名）

(4) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実 施 日　令和７年 11 月 15 日（土）※災害ボランティア養成研修会（実践編）と同時開催

実施内容　①緊急時職員状況確認メール配信による状況確認

②災害ボランティアセンター設置・運営訓練

③災害時の資器材と土のうの作り方

参加機関　・市市民協働部地域振興課地域振興係、災害支援ネットワーク Iwaki

(5) 災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定

災害時応急対応活動として行う災害ボランティアセンターの設置及びそれに伴うボランティア活動を円滑に実施するため、協定を締結した。

ア　締結先　　いわき市

イ　締結日　　令和８年１月５日

成果

令和７年度は、大規模災害への職員派遣要請やボランティア活動保険の助成はなかったが、市民を対象とした研修会の実施や、市・関係機関・市民と協働し、協働型の災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行うことにより、地域活動を支援する人材及び災害ボランティアの発掘及び育成につながった。

また、災害発生時の職員の対応能力の向上と関係機関や災害ボランティアとの連携に努めるとともに、いわき市と災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定を締結したことで、災害時の円滑なボランティア活動を実施するための基盤をつくることができた。

課題

被災地域の災害ボランティアセンター運営支援等における職員派遣について、派遣できる人材が限られていることから、人材の育成に努めていきたい。

また、ボランティアや関係機関と連携した協働型の災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を継続することで、災害時に求められる役割について、職員やボランティアの理解を深めていきたい。

5　年末年始 地域ささえあい助成事業

歳末たすけあい事業の一環として、市内で福祉活動を行う団体を支援し、住民参加による助け合いを促す事業に助成することで福祉活動の活性化を図る。

(1)　対象団体

・事業を計画的に遂行できる営利、政治、思想の普及及び宗教活動を目的としない団体
・地域福祉の推進及び生活支援を目的とするNPO法人、ボランティアセンターに登録している団体
・住民ささえあい事業の第三層協議体

(2)　対象活動

・生活困窮家庭など生活を支援する活動
・ひきこもり支援・不登校児のための居場所づくり
・要介護者等の見守り支援　など

(3)　助成金額

1団体あたり1事業とし、20万円以内（千円未満切り捨て）
※法人格を有する団体については、社会福祉法人は申請事業費の50%、
NPO法人は申請事業費の80%を上限とする

(4)　助成決定団体数・助成額

41団体／合計2,055,274円

＜助成団体＞

	団体名	事業内容	助成額
1	城山結いの会	地域交流クリスマス会	22,000円
2	平第48区鎌田愛結いの会	要援護者の訪問及び弁当配布	81,000円
3	愛谷町区内会	要援護者の訪問及び弁当配布	22,000円
4	永崎地区ふれあい会	要援護者の見守り訪問活動	8,000円
5	上神白地区「お互いさま」	要援護者の見守り訪問活動	8,046円
6	玉川南一区　住民支え合い事業	要援護者の見守り訪問活動	19,000円
7	山田ふれあい福祉の会	要援護者の訪問と年賀状送付	54,000円
8	南台ひまわり会	要援護者対象の交流会	54,000円
9	金山すずらん会	要援護者の見守り訪問活動	138,000円
10	九面ささえ愛	要援護者対象の交流会	73,000円
11	酒井ともの会	要援護者への見守り訪問活動	30,000円
12	小山下やまびこ会	要援護者対象の交流会	59,000円
13	船尾いきいきサポーター会	要援護者の見守り訪問活動	26,000円
14	ほほえみの会	要援護者対象の交流会	11,000円
15	斑堂団地自治会	要援護者の見守り訪問活動	10,000円
16	宮1区	要援護者の訪問及び忘年会	42,000円
17	宮2区サロン(宮沢集会所管理会)	要援護者の訪問及び交流会	25,000円
18	宮12区住民支え合い事業	要援護者対象の交流会	20,000円

	団体名	事業内容	助成額
19	高坂7区二丁目自治会	要援護者への声かけ訪問	30,000 円
20	高野町区会(寄っかの会)	要援護者への声かけ訪問及び忘年会	30,000 円
21	21 区ニコニコ会	要援護者対象のクリスマス会	41,000 円
22	仲町おたがいさまの会	要援護者対象の交流会	22,000 円
23	関屋・落合ふれあい会	要援護者への声かけ訪問及び忘年会	39,000 円
24	上遠野区結の和会	要援護者への声かけ訪問	33,000 円
25	前田住民支え合い会	要援護者への声かけ訪問	14,000 円
26	根岸ほのぼの会	要援護者への声かけ訪問及び忘年会	50,000 円
27	江田・牛小川地区第 3 層協議体	要援護者の見守り訪問活動	25,000 円
28	高萩地区	地域交流クリスマス会	78,000 円
29	田代・沼平自治会	要援護者対象のクリスマス会	40,000 円
30	北二区行政区	要援護者対象の忘年会	42,000 円
31	椎木平地区	要援護者対象の懇親会	23,656 円
32	中好間行政区	要援護者の訪問及び懇親会	34,000 円
33	荷路夫行政区明神見守り隊	要援護者対象の交流会	72,000 円
34	貝泊山ぼうしクラブ	要援護者対象の交流会	62,000 円
35	川前5区・沢尻地区	要援護者対象の忘年会	35,000 円
36	川前3区・山下谷	要援護者対象の忘年会	15,000 円
37	NPO 法人いわき自立生活センター	生活困窮者へ正月用食材を配布	200,000 円
38	いつだれボランティア会	生活困窮者へ弁当配布	200,000 円
39	泉婦人会	要援護者へ弁当配布	147,572 円
40	シャイネン	地域交流クリスマス・忘年会	80,000 円
41	NPO 法人　小さな拠点おおか	介護予防と地域住民同士の交流促進	40,000 円
		合　計	2,055,274 円

成果

福祉活動を行う団体を支援し、住民参加による助け合いを促す事業に助成することで、福祉活動の活性化を図ることが出来た。制度が周知されたことにより、助成団体数及び助成金額が大きく増額した。

課題

本事業は、同一事業に対する助成期間を３年間と定めているが、令和８年度に４年目を迎える 13 団体については、費用助成の終了に伴い中止となる恐れがあるため、引き続き取り組めるよう自主財源の確保等による継続実施に向けた働きかけを行っていきたい。

6　就労体験事業

引きこもり等の要因により、就労支援や就労準備支援など既存の制度に適応できていない方に対し、就労意欲の向上と社会参加の促進が図られるよう就労体験等の機会を提供し、将来的に就労準備支援事業所の利用や一般就労へのきっかけづくりとなる事を目的として支援。

(1) 事業対象者

生活・就労支援センター等で相談支援を受けた次に該当する者

ア　市内に居住する生活困窮者
イ　市内に居住し、本事業の参加を希望する者
ウ　その他、本事業の利用が適当と思われる者

(2) 事業実施内容

月２回程度を想定し、平日の２時間程度で次の作業を行い、１時間 500 円を作業終了後に支給。

ア　フードバンク食糧品の仕分け
イ　事務補助（広報紙の仕分け作業等）
ウ　その他、本事業に適当と認める作業

(3) 実施状況

ア　登録者　５名（10 代男性１名 20 代男性２名　20 代　女性２名）
イ　利用者　４名（20 代 男性）※令和５年５月 25 日より利用開始
（20 代 男性）※令和６年 10 月 17 日より利用開始
（10 代 男性）※令和７年 10 月 18 日より利用開始
（20 代 女性）※令和８年１月９日より利用開始
ウ　作業回数　53 回　106 時間（延べ）
エ　体験スケジュール
・体験内容の確認、安全作業の確認
・就労体験（フードバンク倉庫の整理、精米・小分けなど）
・掃除
・振り返り

成果

令和７年度は、新規利用者が２名増加し、利用者の拡大が図られ、関係機関等と連携を行ったことで、地域社会と繋がる機会の確保ができた。

また、継続的な活動により、利用者の表情や行動に変化が見られるなど、社会参加や就労に対する意識の向上を図ることができた。さらには、約２年間継続利用していた利用者が就労に繋がり、自立した生活を実現することができた。

課題

引きこもり等の課題を抱える家族からの相談が多くあるが、引きこもりの当事者からの相談はなく、支援に繋がりにくい現状となっていることから、本事業の周知を行い、引きこもり当事者の方が、就労や社会参加への意欲を向上することができるような、活動内容等の見直しを図っていくこととしたい。

7　生活・就労支援センター運営事業（市受託事業）

就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性やその他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言をするほか、関係機関と連携しながら問題の解決に向けた支援。

(1)　新規相談件数　416 件

ア　相談件数（件）

年度		R７年度 (A)		R６年度 (B)		比較増減 (A)－(B)
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)
相談対応人数		1,341	—	713	—	628
	うち新規相談	416	31.0	334	46.8	82
	うち継続支援	925	69.0	379	53.2	546
のべ相談対応件数		2,608	—	2,558	—	50

イ　地区別相談件数（件）

地　区	R７年度 (A)	R６年度 (B)	比較増減 (A)－(B)
平	123	82	41
小名浜	100	59	41
勿　来	32	35	△3
常　磐	38	27	11
内　郷	39	27	12
四　倉	10	13	△3
遠　野	4	2	2
小　川	8	10	△2
好　間	22	25	△3
三　和	2	6	△4
田　人	0	1	△1
川　前	2	2	0
久之浜・大久	6	6	0
市　外	5	3	2
その他（不明を含む）	25	36	△11
合　計	416	334	82

ウ　男女の別（人）

	R７年度		R６年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
男	225	54.0	204	61.0
女	191	46.0	130	39.0
合　計	416	－	334	－

エ　年代別の人数と割合

	R７年度		R６年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
10代	6	1.4	2	0.6
20代	47	11.3	31	9.3
30代	57	13.7	39	11.7
40代	81	19.5	55	16.5
50代	100	24.0	73	21.9
60代以上	114	27.4	118	35.3
不明	11	2.7	16	4.7
合　計	416	－	334	－

オ　相談内容（国への月次報告実績）※内容の重複

内容	R７年度		R６年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
病気や健康、障がい	103	8.2	103	10.0
住まい	69	5.5	98	9.6
収入、生活費	234	18.6	213	20.8
家賃、ローン	237	18.9	87	8.5
仕事探し、仕事上のトラブル	188	15.0	198	19.3
引きこもり、不登校	21	1.6	15	1.5
その他(税の支払い、家族関係等)	405	32.2	311	30.3
合　計	1,257	－	1,025	－

カ　支援の状況（件）

		R７年度	R６年度
プラン作成数（再プラン含む）		136	145
継続支援件数		925	379
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		60	54
法に基づく事業等	住居確保給付金	14	14
	一時生活支援事業	6	19
	家計改善支援事業	2	2
	就労準備支援事業	0	1

利用	認定就労訓練事業	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	49	66
その他	生活福祉資金による貸付	2	5
	生活保護受給者等就労自立促進事業	33	36
	子どもの学習環境整備事業	11	12
一般就労者総数		39	87
相談者の内、収入が増えた方		14	6

キ　支援調整会議の開催

支援を要する方に対し、適切な支援を行うため、現状把握、アセスメント、支援体制の確立及び関係機関との調整と役割分担、また地域資源のネットワーク化を行うことを目的に開催。

（ア）　開催状況　　12回（毎月1回）
（イ）　内　　容　　プラン作成136件、プラン終結113件（累計）
（ウ）　構成メンバー　いわき市、家計改善支援員、NPO法人明日飛子ども自立の里、いわき公共職業安定所、指定就労支援事業所、本会

⑵　本事業に関わる職員の役割

ア　主任相談支援員（1名）：相談支援内容及び進捗状況確認、助言、指導等のマネジメント
イ　相談支援員（4名）：アセスメント、プランの作成、支援調整会議、相談支援の実施
ウ　就労支援員（2名）：就労意欲の喚起を含む支援、履歴書作成指導、就労後の定着支援等

成果

令和7年度の新規相談件数は416件（前年度334件）と、新規相談件数及び継続支援件数が増加傾向にある。特に継続支援件数が増加しており、複合的な課題を抱えた世帯などに継続的に関わることで生活状況の改善や自立した生活につなげることができた。

課題

相談内容の傾向として就労をしているが、生活費の不足やローン返済などの相談が多く寄せられている。早期に相談対応を行うことで、生活困窮状態に陥らないケースも多く、当センターの周知を積極的に行いたい。また、各関係機関との連携強化を図ることで、相談者の課題解決に向けた支援に繋げることとしたい。

8　生活困窮者生活サポート事業

金銭的に困窮し、食糧等の確保ができなくなり日常生活に著しく支障をきたしている方々に、企業・市民等から提供を受けた食糧や生活用品等を提供することで、生活困窮者支援団体等と連携・協働しながら総合的な相談対応を行い、生活の再建と自立に向けた支援。

(1)　たすけあいフードバンク事業

生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合会が運営する「コープフードバンク」及び企業・市民等から提供を受けた食糧等を生活困窮世帯及び児童養護施設等へ定期的に給付し、生活の安定や自立支援を行うもの。

ア　生活困窮世帯への給付：19 世帯　（　）内は世帯人数の総数

世帯区分	R７年度	R６年度	比較増減
単身世帯	2（2）	0（0）	2（2）
うち高齢世帯	0（0）	0（0）	0（0）
うち障害者世帯	1（1）	0（0）	1（1）
複数世帯	17（68）	27（103）	△10（△35）
うち子どもがいる世帯	17（68）	26（100）	△9（△32）
うちひとり親世帯	17（68）	21（77）	△4（△9）
うち子どものみ世帯	0（0）	0（0）	0（0）
うち高齢世帯	0（0）	0（0）	0（0）
うち障害者世帯	0（0）	0（0）	0（0）
合　計	19（70）	27（103）	△8（△33）

イ　地区別内訳

地区名	世帯数	地区名	世帯数	地区名	世帯数
平	7	四　倉	0	田　人	0
小名浜	4	遠　野	0	川　前	0
勿　来	5	小　川	1	久之浜・大久	0
常　磐	0	好　間	1	合　計	19
内　郷	1	三　和	0		

ウ　児童養護施設等への給付：32 件

（内訳）

児童養護施設いわき育英舎（２件）、いわき地域若者サポートステーション（２件）、子ども食堂等（28 件）

エ　企業・市民等からの寄贈：29 件

（内訳）

・企業・団体：14 件

いわき市再生資源協業組合（５件）、勿来地区ボランティア連絡会（２件）、東北電力ネットワーク株式会社いわき電力センター（１件）、（株）坂本農園（1 件）、みやぎ生協・コープふくしま（１件）、株式会社郷邑舎（１件）、（株）ダイナム（１件）、ＪＡ福島さくらいわき地区女性部（１件）、農事組合法人菊田の郷助川農園（１件）、

・市民：15 件

オ　いわき市社会福祉協議会職員内でのフードドライブで集まった食品：　32 kg（201 点）

カ　いわき市庁内フードドライブ支援事業からの食品の受け入れ： 354.7kg（1,087点）

(2)　一時的食糧等支援事業

食糧がない世帯やライフラインが止まっている世帯に対し、緊急的かつ一時的に食糧及び生活用品等を各地区協議会へ配備し給付を行うことで、当座の生活の安定を図り、当該世帯の自立に向けた就労支援や家計改善支援等につなげ、継続的な支援を行うもの。

ア　支援世帯： 94世帯　（　）内は世帯人数の総数

世帯区分	R７年度	R６年度	比較増減
単身世帯	51（51）	78（78）	△27（△27）
うち高齢世帯	6（6）	21（21）	△15（△15）
うち障害者世帯	1（1）	1（1）	0（0）
複数世帯	43（124）	37（125）	6（△1）
うち子どもがいる世帯	21（71）	17（68）	4（3）
うちひとり親世帯	9（26）	7（21）	2（5）
うち高齢世帯	1（2）	1（2）	0（0）
うち障害者世帯	0（0）	3（7）	△3（△7）
合　計	94（175）	115（203）	△21（△28）

イ　地区別内訳

地区名	世帯数	地区名	世帯数	地区名	世帯数
平	30	四　倉	1	田　人	0
小名浜	18	遠　野	1	川　前	1
勿　来	8	小　川	0	久之浜・大久	0
常　磐	9	好　間	4	その他	10
内　郷	12	三　和	0	合　計	94

(3)　乳幼児のいる世帯支援事業

粉ミルクや離乳食・紙おむつ等を給付することで、当該世帯の生活状況の把握に努め、子どもの健全な育成と経済的自立や新たな支援の構築を図り、必要な支援につなげるもの。

ア　支援世帯数：５世帯

(4)　ＤＶ被害者支援事業

ＤＶ被害者支援を行う団体と連携し、ＤＶ被害者の経済的自立に向けた情報の提供や生活用品等の給付を行うもの。

ア　給付件数： 60件

・配布物：トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ハンドソープ、
洗濯洗剤、柔軟剤、台所洗剤、食品用ラップ、ゴミ袋、生理用品

(5)　就職活動準備支援事業

就職面接用スーツ等が用意できない生活困窮者に対し、スーツや靴等の貸出・支給を行うことで、面接時及び就労後に不利益を被ることが無いよう支援を行うもの。

ア　支援者数：　7名

	R７年度 (A)			R６年度 (B)			比較増減 (A)－(B)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
利用者	4	3	7	2	7	9	2	△4	△2
スーツ貸出	5	2	7	2	5	7	3	△3	0
シャツ等支給	2	3	5	1	3	4	1	0	1
鞄貸出	2	3	5	0	4	4	2	△1	1
靴貸出	2	3	5	1	4	5	1	△1	0
散髪支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0

成果

本事業の利用をきっかけとして、支援世帯の生活状況や相談内容を適確に把握し、支援世帯の抱える課題の解決に向けた支援や関係機関等への繋ぎを行うことができた。

課題

本事業の周知が図られてきたことから、市民や企業等から食糧等の寄付が多く寄せられている。市内の生活困窮者を支援する団体と連携を図り、支援が必要な世帯の把握に努め、食糧等の有効な活用を検討したい。

9　法人後見事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が後見人になり、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護サービスを提供。

(1)　事業対象者

いわき市在住で、他に適切な後見人等を得られない者のうち、次のいずれかの要件を満たす者。

ア　日常生活自立支援事業（あんしんサポート）の利用者

イ　市長申し立ての請求を行う者

(2)　令和７年度受任状況

区分（類型）	新規受任数	Ｒ８年３月末 受任数
補助（判断能力が不十分な方）	０（０）	０（１）
保佐（判断能力が著しく不十分な方）	０（０）	１（１）
後見（判断能力が全くない方）	１（１）	８（７）
合計	１（１）	９（９）

＊（ ）は、前年度実績

(3)　運営委員会の設置及び開催状況

後見業務の実施にあたり、受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適切な後見業務を担保するため学識経験者や法律関係者で構成される運営委員会を設置。

ア　委員構成　３名

委員長　：鎌田　真理子氏（医療創生大学教養学部地域教養学科　教授）

副委員長：大和田　亮氏　（福島県司法書士会いわき支部　司法書士）

委員　　：鎌田　毅氏　（福島県弁護士会いわき支部　弁護士）

イ　開催状況

	開催日	主な内容
第１回	令和７年８月20日（水）	・受任案件の報告11件 ・受任案件の助言を求めるもの０件 ・新規案件の審査１件

成果

令和７年度の新規受任は１件で、あんしんサポートから移行したケースで、権利擁護・成年後見センターと連携を図りながら円滑な受任に繋げることができた。また、健康保険証の廃止に伴い、マイナンバーカードの新規発行や更新手続き、入院契約及び葬儀・納骨等に関する生前契約等の適切な権利行使を行うとともに、単なる財産管理だけでなく、対象者が望む暮らしの確認やその実現のため、定期訪問を行い、丁寧な対応に努めた。

課題

判断能力の低下により、明確な意思表示が出来ない利用者に対して、入院や施設入所、医療同意や死後の対応について早急な対応を求められる場面が多く、正解のない物事に対して、支援者の考えを誘導することなく本人の意思を反映させることが難しく、意思決定支援スキルの向上が職員に求められている。

また、住み慣れた地域で安心した生活を送るため、制度だけではサポートしきれない部分が生じてしまう。地区協議会と連携し、住民支え合い等のインフォーマルサービスを活用した支援に努めていきたい。

10　日常生活自立支援事業（あんしんサポート／県社協受託事業）

判断能力が十分でなくなってきている方（認知症高齢者、知的・精神障がい者など）が、地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などの援助。

(1)　本事業に関わる職員（令和８年４月１日現在）

ア　専　　門　　員：利用者の状況やニーズを把握し、自立支援に向けて適切な援助を行うため初期相談及び契約の締結、支援計画の作成を行う。（常勤４名）

イ　生 活 支 援 員：専門員が作成する支援計画に基づき、具体的な支援を行う。（非常勤２名）

ウ　地区協議会職員：初期相談に対応し、専門員が契約するにあたっての調整役を担う。

(2)　相談の状況

（件）

	問い合わせ	初回相談	継続等相談援助	合計
1　認知症高齢者	45	29	1,888	1,962
2　知的障がい者	8	7	986	1,001
3　精神障がい者	31	19	1,837	1,887
4　不明、その他（身体障がい者他）	12	10	116	138
合　計	96	65	4,827	4,988
（令和６年度：	84 件	32 件	4,459 件	4,575 件）

(3)　契約の状況

15 件（令和６年度：20 件）

（内訳：認知症高齢者６件　知的障がい者５件　精神障がい者４件　その他０件）

(4)　地区別利用者の状況（継続利用者 80 名）

（名）

地 区 名	Ｒ７年度末(A)	Ｒ６年度末(B)	比較増減 (A)－(B)
平	26	29	△3
小名浜	10	10	0
勿　来	6	7	△1
常　磐	12	14	△2
内　郷	18	15	3
四　倉	4	5	△1
遠　野	1	1	0
小　川	0	0	0
好　間	0	0	0
三　和	1	1	0
田　人	0	0	0
川　前	0	0	0
久之浜・大久	2	2	0
合　計	80	84	△4

⑸ **関係機関・団体等への制度周知（講師派遣）**

開催日：令和８年２月１４日
場　所：いわき市総合保健福祉センター
対　象：第６期市民後見人養成講座基礎講座受講生
参加者：15 名

成果

継続利用者の人数としては減少したものの、こだわりが強いなどの障がい特性により精神障がい者からの相談件数が増加しており、心身の状態変化に寄り添いながら相談対応を行い、生活の安定へと繋げることができた。

さらには、関係機関からの求めにより研修会の講師として出席し、本事業の周知と制度の理解を促すとともに適切な利用の呼び掛けを行った。

課題

心身の状態だけでなく利用者の望む暮らしも的確に捉えていくことで、在宅生活へのモチベーションを保ちながら残存能力を活かした支援を意識しながら行っていきたい。

また、利用者１人あたりの相談件数が増加しており、継続して丁寧な相談対応にあたるためには制度の適切な利用が望まれるが、本事業の根幹である「福祉サービスの利用援助」を必要としない施設入所や長期入院の方に対する新規相談が増えており、各種団体（老人福祉施設協議会や病院協議会など）に対し、福島県社会福祉協議会と連携を図りながら課題解決への糸口を模索していきたい。

11　生活支援相談員等配置事業（県社協受託事業）

被災者の生活復興支援のため平成 23 年７月から生活支援相談員を配置し、災害公営住宅等における見守り、相談、福祉制度の情報提供、被災者を中心とした交流の場づくり等を行うとともに、令和４年度からは、福島県社協において、避難者地域支援コーディネーターが新設され、本会では生活支援相談員と併せて配置し、復興公営住宅団地の見守り支援等を行ってきた。

令和５年４月に福島県社協と本会及び避難元５社協（楢葉、富岡、大熊、双葉、浪江町）と「避難者地域支援コーディネーター」活動の一元化に係る協定の締結を行い、本会を拠点に「社協連携避難者支援センターいわき」を開設し、「地域支援」と「見守り強化」に向けた取組みを実施。

１　避難者地域支援コーディネーター配置状況　２名（生活支援相談員と兼務）

２　生活支援相談員取組み状況（個別支援）

(1)　対象世帯数：12 世帯（令和８年４月１日現在）
(2)　訪問状況：59 件（事業開始から延べ件数　144,039 件）
(3)　交流会実施回数：３回（事業開始からの開催回数　1,643 回）
(4)　交流会参加人数：95 名（事業開始からの参加人数　27,257 名）
(5)　避難元５社協と連携した復興公営住宅への訪問状況：281 件

３　避難者地域支援コーディネーター取組み状況（地域支援）※広域避難者支援モデル事業

(1) 復興公営住宅団地集会所を利用した定期的な居場所作りと地域との交流
　ア　集会所開放「よらっせ」の実施
　　・実施回数：177 回
　　・参加人数：1,086 名
　イ　地域との交流事業（農業体験）
　　・実施回数：7 回
　　・参加人数：281 名
(2) ふれあいだよりの発行：1,722 部
(3) 地区協議会や関係団体等との情報交換会：13 回
(4) 避難元・避難先民生児童委員との情報交換会の開催：２回（中原団地・四ツ倉団地）

成果

団地住民に対して「ふれあいだより」の配付による情報提供や集会所を活用した「よらっせ」が住民同士の交流を図るきっかけとなったほか、関係機関と連携・協働により住民主体による自主的な活動等へ繋がった。また、復興公営住宅が立地する地域で、避難元・先の民生児童委員協議会と生活支援相談員の情報共有会議を開催し、活動の理解と連携・協働による見守り支援体制の強化を図った。

課題

地域と繋がりを持とうとしない、住民に対しての見守り支援等について、地域住民や関係機関と情報共有を行いながら孤立死等の防止を図るとともに、地域住民同士のつながりの大切さ等について理解を深められるような働きかけを行っていきたい。

12　いわき市子育て世帯ヘルパー派遣事業（市受託事業）

いわき市では、令和５年度６月より家事・育児に対し不安や負担を抱える児童等がいる家庭に対し、ホームヘルパーを派遣する子育て世帯ヘルパー派遣事業を実施することとなり、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児などの支援を実施することで家庭環境や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりの未然防止や、児童の負担軽減を図り、家庭における児童の健全な育成に資することを目的として実施。

(1)　対象者

次のいずれかに該当する家庭

ア　本来本人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている児童が属する家庭

＊対象児童は、要対協の要支援児童に登録又は登録予定

イ　その他、市が特に支援が必要と認める児童等がいる家庭

(2)　実施内容

ア　家事支援　食事の準備及び片付け、衣類の洗濯、補修、居室等の清掃、整理整頓、生活必需品の買い物、その他必要と認められる家事援助

イ　育児支援　授乳、食事介助、おむつ、衣類交換、沐浴、入浴介助、兄弟の世話、保育園等送迎支援、その他必要と認められる育児支援

(3)　支援の提供頻度及び期間

ア　支援時間及び回数

１回２時間、週１回を上限

提供時間帯は、原則午前７時から午後８時まで

イ　支援期間

利用は対象者からの申込みにより決定し、支援期間は最初の支援開始から６ヵ月以内

支援期間終了後も支援の継続が必要と市が認めた場合は、さらに６ヵ月の延長

＊最長支援期間は設けない。

(4)　令和７年度実績

ア　利用者　　４名（６ヵ月支援、さらに６ヵ月支援継続中）

イ　利用回数　　令和７年４月から令和８年３月まで　合計 30 回

ウ　支援内容　　居室の清掃、整理整頓等

成果

こども家庭課のコーディネーターや担当地区の保健師と連携を取りながら、定期的な訪問を行い、利用者が希望する支援を行うことができた。

課題

今後、増えていくと思われる派遣要請に対応すべく、人員及び人材の確保に努めていきたい。

基本理念「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち　いわき」

基本目標１　共に生きる社会をつくるために

基本計画１－１　本人の意思の尊重

基本計画１－２　子ども・子育て支援の充実

実施項目／実施内容	備考

○　子育てサロン事業

子育て中の方々が子育てに関する情報交換や悩みの共有化を図り、孤立・不安・競争の子育てから、協働・安心・信頼の子育てができるよう、地域の民生児童委員や主任児童委員、ボランティア等と連携し、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりや出会いの場づくりができる子育てサロンの拡充強化に努めた。

地区別実施状況

地区名	実施箇所	実施回数	延べ参加組数	内容
平	8	66	306	季節行事や自由遊び、情報交換等
小名浜	1	20	213	〃
勿　来	1	11	90	〃
常　磐	1	10	85	〃
内　郷	1	11	50	〃
四　倉	1	11	50	〃
遠　野	1	11	46	〃
小　川	1	8	28	〃
好　間	1	9	74	〃
田　人	1	11	80	〃
久之浜・大久	1	12	45	〃
合計	18	180	1,067	

（令和６年度：　202 回／1,079 組）

成果

子育て中の親子が気軽に集い交流し、子育ての不安や悩み等を話し合うことにより、安心して子育てができるよう環境づくりに努めるとともに、子育てコンシェルジュの参加協力を得て、子育て支援関連の情報提供も行った。

○　子育てサロン歳末支援事業の推進

歳末たすけあい運動の一環として、各地区協議会主催の子育てサロンで行うクリスマス会の活動に対し、その経費の一部を助成することにより、親子が明るく元気に歳末時期を過ごせるよう支援した。

・事業実績　355 名（令和６年度：424 名）

成果

各地区でクリスマス会を実施し、親子で行事を楽しむことができた。

○ **地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）※市受託事業**

親子のふれあいと、父母等、子ども同士が気軽に交流できる場とするとともに、子育てに関する悩みや不安等の相談に応じ、市内の子育て支援関連の情報提供などに努めた。

年間利用者数

大人	子ども	合　計	育児などに関する相談件数
3,002 名	3,092 名	6,094 名	93 件

（令和６年度：6,729 名／相談件数：114 件）

成果

保育士が子育て中の親等からの相談に応じ、子育てに関する助言を行うとともに、市内の子育て支援関連の情報提供をすることができた。

○ **生活困窮者生活サポート事業**

再掲 P.14～16

○ **産前・産後ヘルパー派遣事業　※市受託事業**

出産後の養育についての支援が必要な妊婦及び保護者並びに養育が必要な児童に対し、産前・産後ヘルパーを派遣することにより、妊娠、出産、育児期における育児不安の解消や心身の不調による育児不安の軽減並びに児童の適切な養育環境の確保を図った。

1　事業対象者

市内に居住し、在宅生活をしている者であって、次の各号に掲げる者のうち、ホームヘルパーの派遣を行うことが、適当であると市長が認めた者

ア　出産後の養育について出産前に支援を行うことが特に必要と認められる妊婦

イ　出産後の家庭訪問その他の手段により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童及び保護者

ウ　保護者に監護させることが不適当であると認められる児童及び保護者

2　支援内容

ア　食事の準備、後片づけ・衣類の洗濯、補修　・居室等の清掃、整理整頓・買い物

イ　その他必要と認められる育児、家事援助

3　利用状況

ア　相談のみ件数　　1 件（令和６年度　1 件）

イ　利用件数　　23 件（令和６年度　20 件）

成果 サービス利用者数はわずかに増加傾向、サービス終了後も障がい福祉サービスで利用する世帯もあり、継続した支援につながっている。	
基本計画１－３　高齢者福祉の充実	
実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2 ～3
○　**つどいの場創出支援事業　※市受託事業**	再掲 P.5
○　**各種事業の開催（介護予防教室・介護技術講座等）** 高齢者の介護が課題となっているなか、介護の問題を社会全体で支えるという視点に立ち、地域住民に対する介護の啓発や介護に関する知識と技術の普及を図るとともに、高齢者を地域で支える活動に資するため開催。 １　介護教室・介護予防講座 ○小名浜地区 開催日：令和８年３月 19 日 場　所：玉川自治会館 参加者：20 名 ○勿来地区 男の料理教室 開催日：令和８年２月 24 日、３月３日 場　所：川部公民館 参加者：延べ 25 名 ○常磐地区 開催日：令和７年８月～令和８年１月の連続した３ヶ月間 場　所：常磐公民館 参加者：延べ 73 名 ○遠野地区 男の料理教室 開催日：令和７年６月１日、７月６日、令和８年２月１日 場　所：入遠野公民館 参加者：延べ 24 名	

○小川地区

開催日：令和７年 10 月 29 日、11 月５日、令和８年１月 13 日

場　所：高萩公民館、小川公民館、福岡多目的集会所

参加者：述べ 32 名

○三和地区

開催日：令和７年７月 16 日

場　所：三和ふれあい館

参加者：21 名

○久之浜・大久地区

開催日：令和８年２月 18 日

場　所：久之浜・大久ふれあい館

参加者：19 名

成果

参加者同士の交流を深めながら運動機能を高める健康体操や調理実習うなど、参加者は継続して運動を行うことの大切さや、栄養管理について学ぶことができた。

また、介護の知識や技術を学ぶことで、不安の解消を図ることができた。

2　高齢者ふれあいの集いの開催

○四倉地区

開催日：令和７年 10 月 15 日

場　所：蟹洗温泉　太平洋健康センター

参加者：約 100 名

○田人地区

開催日：令和７年 10 月 10 日

場　所：田人ふれあい館

参加者：96 名

○久之浜・大久地区

開催日：令和７年 11 月３日

場　所：久之浜・大久ふれあい館

参加者：298 名

成果

外出する機会を確保し、体力向上や心身の安定を図ることができ、参加者同士の顔なじみの関係が築けたことにより、生きがいづくりや生活の活発化につなげることができた。

○　**住居環境整備・補修等サービス事業の実施**

歳末たすけあい運動の一環として、援護を必要とする低所得の在宅高齢者単身世帯を対象に、障子張りサービスを提供し、明るくフレッシュな気持ちで新年を迎えられるよう支援するとともに、シルバー人材センターに業務を発注することにより高齢者の雇用創出にも寄与した。

・事業実績　11 件（令和 6 年度　14 件）

成果

新しい障子により明るくリフレッシュな気持ちで新年を迎えることができ、ひとり暮らし高齢者の心のケアにつながった。

関係資料 P.99

○　**介護用防水シーツ給付事業の推進**

歳末たすけあい運動の一環として、常時寝たきりの状態にある在宅高齢者世帯等に対し、民生児童委員の協力のもとに介護用防水シーツを給付し、在宅での生活や介護を支援した。

・給付人数　115 名（令和 6 年度　77 名）

成果

給付により、介護者の負担軽減が図られた。

関係資料 P.99

○　**青少年福祉体験学習事業**

1　高齢者疑似体験

加齢にともなう身体的機能と心理的な変化が、日常生活にもたらすさまざまな影響を体験的に理解する機会を提供するため、児童・生徒や地域住民等を対象に高齢者疑似体験セットを無料で貸し出し、高齢者福祉に対する関心と理解の促進に努めた。

・貸出件数　体験セット　43 件　　488 セット（令和 6 年度：24 件　310 セット）
　　車椅子　　9 件　　38 台　　（令和 6 年度：3 件　11 台）

2　福祉体験プログラム（福祉講話、手話体験、点字体験）

＜手話体験＞

地　区	学校名	開催日	参加人数
平	赤井小学校	令和 7 年　9 月 25 日	32 名
	夏井小学校	令和 7 年 11 月 12 日	11 名
	平第四小学校	令和 8 年　1 月 21 日	49 名
小名浜	小名浜第二小学校	令和 7 年　7 月　1 日	65 名
	小名浜第一小学校	令和 7 年　9 月　9 日	55 名
	小名浜第三小学校	令和 7 年　9 月 29 日	75 名
	渡辺小学校	令和 7 年 10 月 23 日	15 名
勿来	勿来高校	令和 7 年　7 月 15 日	8 名

	錦中学校	令和７年　９月　５日	74名
	植田中学校	令和７年　９月29日	140名
常磐	湯本第二小学校	令和７年　９月17日	22名
内郷	高野小学校	令和７年　９月　８日	10名
四倉	四倉小学校	令和７年　５月20日	57名
小川	小川小学校	令和７年　９月　２日	23名
好間	好間第二小学校	令和７年　６月20日	55名
	いわき総合高校 好間校舎	令和７年10月16日	５名

＜点字体験＞

地　区	学校名	開催日	参加人数
小名浜	小名浜第一小学校	令和７年　10月　３日	55名
	小名浜第二小学校	令和７年12月　５日	69名
	永崎小学校	令和７年12月10日	37名
勿来	植田中学校	令和７年　９月29日	140名
	植田小学校	令和８年　２月19日	75名

成果

車いすや高齢者疑似体験セットを学校や地域住民等に貸し出すことにより、福祉教育の充実強化と福祉意識の醸成を図ることができた。

また、いわき手話サークル及びいわき点訳グループの方に講師を務めていただき、手話や点字に触れる機会を設けたことにより、障がいのある方への理解を深めることができた。

○ **サマーショートボランティアスクール事業**

第34回サマーショートボランティアスクールの実施

高校生を対象に、夏休みの期間を利用し市内の福祉施設等で3日間ボランティア体験を行い、今後のボランティア活動への積極的な参加を促すことを目的に実施した。

・開　校　式：令和7年7月23日(水)
・場　　所：いわき市社会福祉センター　5階大会議室
・内　　容：市内社会福祉施設やボランティア団体における体験交流活動
・活動期間：令和7年7月23日から8月23日まで
・参加学校数：7校
・参加生徒数：43名
・協力施設・団体数：24施設・3団体

成果

高校生が、施設等でのボランティア活動を通し、ボランティアの意義や、人とかかわることの楽しさ等を学ぶことで、今後のボランティア活動に積極的な参加を促すことに繋がった。

○ **福祉人材センター協力指定事業 ※県社協受託事業**

地域住民に福祉サービスについての啓発を行うとともに、福祉マンパワーの確保対策の推進を図った。

1　福島県福祉人材センターが実施する事業への協力・支援の実施
　福祉施設等への就労を希望する方に対し、福祉の職場、職種等についての相談会を実施
(1)　場　所：いわき市社会福祉センター
(2)　日　時：毎月第2水曜日（午前10時30分から午後2時30分まで）
2　福祉人材センター求職登録の受付及び相談　13件（令和6年度：19件）
3　福祉の職場合同就職説明会（年1回）への協力

成果

福祉の仕事に係る広報活動、情報提供を行うことによって、福祉分野への理解や関心を深め、人材不足である福祉の職場への人材確保に努めた。また、生活・就労支援センターと連携しながら、求職者からの相談・マッチングを行うことができた。

○　**介護保険事業**

1　居宅介護支援事業

介護保険制度において、多様なサービス提供主体（事業者）による各種の介護サービスが総合的、一体的、効率的に提供されるよう、利用者側のサービス選択を基本に、高齢者とその家族を支援することを目的に実施。

＜利用者状況＞

利用者　延 1,270 名（令和６年度　1,179 名）

成果

特定事業所加算事業所としての要件を満たしつつ、利用者のサービス選択を重視し、偏りのないサービス計画により、利用者及び介護者や家族を支援した。

関係資料 P.95

2　施設訪問調査事業の実施

いわき市内における施設入所者の要介護認定更新に係る調査、及びいわき市外からの委託による施設入所者・在宅生活者の要介護認定更新に係る調査の実施。

・調査件数　　24 件（いわき市分：0 件　いわき市以外分：24 件）

〔令和６年度　48 件（いわき市分：23 件　いわき市以外分：25 件）〕

成果

いわき市内における施設入所者の要介護認定更新の減少に伴い、調査依頼が無かった。いわき市以外分の調査に対して、訪問調査事業の円滑な対応に努めた。

関係資料 P.95

○　**訪問介護事業**

介護保険制度で要介護と認定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、生活支援や身体介護などのサービスを提供。

＜訪問介護サービス事業利用状況＞

対象者（介護保険認定者）	実施回数（回）				利用者延数（名）
	生活援助	身体生活	身体介護	合計	
	1,196	297	351	1,844	299

（令和６年度　1,949 回／290 名）

成果

ホームヘルパーの人員確保が困難な状況にあるなか、特定事業所加算事業所の継続や研修によるホームヘルパーの質の維持向上に努め、積極的に他事業所が参入しない中山間部や困難ケースへの対応に努めた。

関係資料 P.95

○ **訪問入浴介護事業**

介護保険制度で要介護と判定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などのサービスを提供。

<訪問入浴サービス事業利用状況>

対象者（介護保険認定者）	実施回数（回）			利用者延数（名）
	入浴	清拭	合計	
	1,161	15	1,183	299

（令和６年度　1,505 回／362 名）

関係資料 P.95

成果

看護師や介護人材の確保に努め、サービスの希薄な中山間地域、医療依存度が高い利用者や末期癌ターミナルの利用者へのサービス提供など、利用者のニーズに対応しながら事業の効率化を図り、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

○ **予防訪問介護事業**

介護保険制度における予防給付として、要支援１及び要支援２と判定された高齢者等の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、家事や入浴、排泄支援などの介護予防サービスを提供。

対象者（介護保険認定者）	実施回数（回）	利用者延数（名）
	1,268	253

（令和６年度　1,140 回／221 名）

関係資料 P.95

成果

サービス提供の制限とヘルパーの減少という厳しい状況のなかで、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

○ **予防訪問入浴介護事業**

介護保険制度における新予防給付として、要支援１及び要支援２と判定された高齢者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などの介護予防サービスを提供。

対象者（介護保険認定者）	実施回数（回）			利用者延数（名）
	入浴	清拭	合計	
	0	0	0	0

（令和６年度　０回 ／０名）

関係資料 P.95

○　ケア会議への参画

1　地域ケア会議への参画

介護保険制度に基づき、地区保健福祉センターで設置している「地域ケア会議」へ参画し、関係機関・団体の連携により、高齢者・障がい者・子どもなどが地域で暮らし続ける上での日常的な医療・介護・子育てなどを中心とした諸課題の解決に向けて協議した。

地区名	実施日
小名浜	令和７年　７月 25 日 令和７年 11 月 13 日 令和８年　１月 30 日
勿来・田人	令和７年　８月 28 日
常磐･遠野	令和７年 12 月 18 日
内郷･好間･三和	令和７年　９月 25 日 令和８年　３月 12 日
四倉･久之浜大久	令和７年　７月 17 日 令和８年　２月 26 日

2　小地域ケア会議への参画

小地域ケア会議及び個別ケア会議（地域包括支援センター主催）に積極的に参画し、高齢者を地域で支えるための体制づくりに努めた。

＜小地域ケア会議＞

地区名	実施日
小名浜（泉ヶ丘地区） （湘南台地区）	令和７年　５月 29 日 令和７年 11 月 13 日
勿来（根小屋･中岡地区）	令和７年　６月 22 日 令和７年　７月 27 日 令和８年　２月　１日
常磐（五反田地区）	令和７年 12 月 12 日
久之浜・大久地区	令和７年　９月 26 日 令和７年 12 月　９日
久之浜･大久（中町地区）	令和７年５月 15 日

＜個別ケア会議＞

地区名	実施日
遠　野	令和８年　３月 25 日

＜ネットワーク会議＞

地区名	会議名	実施日
川前	高齢者等支援ネットワーク連絡会総会 高齢者等支援ネットワーク連絡会検討会	令和７年　６月 16 日 令和７年 11 月 29 日

＜いわき市他機関協働事業　重層的支援会議＞

地区名	会議名	実施日
勿来	第２回重層的支援会議 第３回重層的支援会議 第４回重層的支援会議	令和７年 10 月 24 日 令和７年 11 月 13 日 令和８年　２月 20 日

成果

地域包括支援センターをはじめ、関係機関との協働により、高齢者、障がい者等の生活実態や生活支援ニーズを把握することができたことから、今後も課題を分析しながら課題解決に向け取り組んでいく。

基本計画１－４　障がい者福祉の充実

実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2 ～3
○　**青少年福祉体験学習事業**	再掲 P.27 ～28
○　**サマーショートボランティアスクール事業**	再掲 P.29
○　**日常生活自立支援事業（あんしんサポート）　※県社協受託事業**	再掲 P.19 ～20
○　**成年後見（法人後見）事業**	再掲 P.17 ～18

○ **車椅子同乗移送用自動車貸出事業**

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子のまま同乗できる移送車両を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいづくり、さらにはリフレッシュを図る等の外出を支援した。（平地区２台、勿来地区１台の合計３台車両を配置）

(1) **利用対象者**：いわき市内在住で、次のいずれかに該当する方。

ア　要介護や障がいなどのために車椅子などを使用しなければ移動が困難な方

イ　下肢のケガ等により移動が困難な方

ウ　座位を保てる方

エ　体重 100kg 以下の方

(2) **利 用 期 間**：２日以内　午前８時 30 分から午後５時まで（月２回）

(3) **利　用　料**：車両の使用については無料。ガソリン代は利用者負担。

(4) **貸出状況**

	Ｒ７年度	Ｒ６年度	比較増減
平地区車両	262（78）	212（92）	50（△14）
勿来地区車両	134（25）	134（47）	0（△22）
合　計	396（103）	346（139）	50（△36）

＊（ ）は、貸出のうち２日間の利用件数

(5) **地区別利用件数**

地　区	Ｒ７年度	Ｒ６年度	比較増減
平	159	103	56
小名浜	40	68	△28
勿　来	112	103	9
常　磐	23	9	14
内　郷	6	21	△15
四　倉	23	11	12
遠　野	0	0	0
小　川	4	7	△３
好　間	16	3	13
三　和	0	3	△３
田　人	4	13	△９
川　前	0	0	0
久之浜・大久	9	5	4
合　計	396	346	50

成果

新規利用者の増加により実績は増となった。高齢者や障がい者等の通院や施設からの一時外出、レジャーを目的に利用することで、高齢者や障がい者等の社会参加や生きがいづくりに寄与することができた。

○　**車椅子貸出事業の実施**

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいづくり、さらにはリフレッシュのための外出等、日常生活を支援した。

〈貸出状況〉

・貸出件数　110 件（令和 6 年度：161 件）

成果

通院による利用が最多であったが、外出の機会を確保することができ、高齢者や障がい者等の生活を支え、リフレッシュや生きがいづくりに寄与することができた。

○　**介護保険事業**

再掲 P.30

○　**障がい福祉サービス事業（指定居宅介護事業）**

介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、障がい者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づき家事や入浴排泄支援など居宅介護サービスを提供。

＜居宅介護サービス事業利用状況＞

対象者（障がい支援区分認定者）	実施回数（回）			利用者延数（名）
	生活援助	身体介護	合計	
	321	47	368	132

（令和 6 年度　373 回／69 名）

関係資料 P.95

成果

他事業所の参入が少ないことや困難ケースが多いなかで、利用者・実施回数ともに若干の減少があったが、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

○　**身体障がい者訪問入浴サービス事業**

入浴に介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、温泉利用による入浴介護や部分清拭などサービスを提供。

対象者（65 歳未満の身体障がい者等）	実施回数（回）			利用者延数（名）
	入浴	清拭	合計	
	429	0	429	97

（令和 6 年度　400 回／92 名）

関係資料 P.95

成果

延べ利用者数は増加したが、体調不良や家事都合でキャンセルになったため、実施回数が減少したものの、利用者ニーズの対応の変化に併せたサービスの提供と確保に努めた。

○　**当事者団体活動助成事業（市盲人福祉協会・市腎臓病患者友の会）** 当事者団体が実施する事業を支援し、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることを目的に一団体あたり 35,000 円を助成。 ・助成実績 支援団体　２団体（令和６年度　２団体） 配分総額　70,000 円（令和６年度　70,000 円） 成果 当事者団体を支援することにより、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることができた。	
○　**小規模障がい児(者)通所施設等歳末支援事業の実施** 歳末たすけあい運動の一環として、いわき市内の小規模障がい児(者)通所施設等が歳末時期に行うクリスマス会等に対し、給食費等の一部を助成することにより、施設利用者が明るく元気に新年を迎えられるよう支援した。 ・事業実績　57 施設　1,684 名（令和６年度　57 施設　1,577 名） 成果 小規模施設等が実施する事業への支援をとおし、障がい児・者が歳末時期を仲間とともに楽しく、健やかに過ごすことができた。	関係 資料 P.99
○　**各種事業の開催** 障がい児・者の余暇活動の場が少ないことや、人と人との交流の場が少ないとの課題を受け、地域住民とともに参加できる活動の場の提供を行った。 ○常磐地区 温かおむすび交流会 開催日：令和７年１月 26 日 場　所：いわきゆったり館 内　容：おにぎり・豚汁の調理 参加者：13 名 成果 障がい児・者の余暇活動の充実が図られるとともに、障がい児・者と地域住民の相互理解により、支え合いの地域づくりのきっかけとなった。	

基本計画１－５　生活困窮者対策の充実（所得、就労、住居など）

実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業**	再掲 P.2～3

○　福祉総合相談事業　　関係資料 P.92～93

地域住民の日常生活におけるさまざまな問題やニーズに対し、助言・指導や専門機関への紹介等を行い、地域住民の生活不安等の問題解決や福祉の増進に努めた。

1　相談状況

開設相談	開設延日数	利用者 男	利用者 女	利用者 計（名）	相談件数	処理状況 処理区分	処理状況 件
○福祉総合相談	242	1,896	1,264	3,160	3,160	解　決	2,975
						継　続	74
						紹　介	111
						その他	0
○法律相談	12	26	45	71	71		
○ボランティア相談	242				137		
○日常生活自立支援事業相談（あんしんサポート）	242				4,988		
合　計					8,356		

（令和６年度：　8,105 件）

成果

高齢者や精神障がい者からの相談が多く、本人の話を丁寧に傾聴し、一人ひとりの状況に応じた対応に努めた。

また、複合的な課題を抱えている相談者も多いため、kintone(キントーン)や福祉フォロークラウド等の ICT の活用により本会内での係を超えた連携を行っている。

○　**生活困窮者生活サポート事業**	再掲 P.14～16

○　児童養護施設歳末支援事業　　関係資料 P.99

市内の児童養護施設（いわき育英舎）の子どもたちへ、一般家庭と同様に「お年玉」を支給するとともに、高校を卒業し、就職または進学する子どもたちへ、就職支度費及び進学支度費として、新生活に必要なものを購入するための就職・進学準備金としてお祝金を支給した。

(1) 支給金額

ア お年玉

対象者	支給金額	人数	合計金額
幼児	2,000 円	4 （6）	8,000 円（ 12,000 円）
小学生	3,000 円	10 （9）	30,000 円（ 27,000 円）
中学生	5,000 円	10 （9）	50,000 円（ 45,000 円）
高校・専修学校等	5,000 円	9 （11）	45,000 円（ 55,000 円）
合 計		33 （35）	133,000 円（139,000 円）

イ お祝い金（就職・進学準備金）

対象者	支給金額	人数	合計金額
就職・進学予定者	50,000 円	2 （2）	100,000 円（100,000 円）

＊（ ）は、前年度の実績

ウ 年越し費用（令和５年度より実施）

対象者	支給金額	人数	合計金額
全入所者	1,000 円	33 （35）	29,691 円（27,144 円）

成果

お年玉を支給することによって、日本の習慣に触れる機会となり、普段購入できないものを購入できる喜びを味わい、明るい気持ちでお正月を迎えることができた。また、新社会人等に就職等準備金を支給することによって、就職や進学に必要なスーツ等へ活用することができ、自立への助長となった。

さらに、年越し費用の支給により、普段食べられないような夜食を提供することができ、入所者同士が楽しく団らんしながら新たな年を迎えることができた。

○　**歳末生活困窮世帯子ども健全育成事業（七五三お祝い支援事業を改編）**

生活に困窮する世帯の子どもたちを対象に、子どもの成長を祝う日本の伝統行事である「七五三お祝い」に触れる機会の確保と、子どもたちが心豊かに健全に育っていくための一助になることを目的に iwaki ヘアメイクアカデミー等の協力を得て実施した。

・　開催日　　令和７年 12 月 20 日（土）
・　場　所　　飯野八幡宮
・　内　容　　「学校法人 iwaki ヘアメイクアカデミー」講師及び学生の協力により着付け・ヘアメイクを行う。飯野八幡宮内で写真館を経営している「nenrin」の協力により写真撮影を行い、アルバム作成し記念品として贈呈する。
飯野八幡宮においてご祈祷を行う。
・　参加人数　３名（児童養護施設いわき育英舎入所児童 ）

成果

日本の伝統文化である着物を着用し、伝統行事に触れる機会を確保することができ、子どもの健全な育成の一助につながった。

また、iwaki ヘアメイクアカデミー、nenrin、飯野八幡宮と協働により実施したことで、社協の事業の理解と連携を深めることができた。

○　**クリスマス支援事業**

18 歳以下の子どもがいる生活困窮世帯を対象に生活状況の把握と子どもの健全な育成の一助となることを目的に、歳末たすけあい募金の配分事業として、クリスマスケーキと菓子、ローストチキンの配布と生活状況の把握を実施した。

・　実施日　　令和７年 12 月 24 日（火）、25 日（水）
・　配布実績　23 世帯　子ども 57 名
　　①　生活困窮者生活サポート事業 利用世帯　10 世帯・子ども 25 名
　　②　DV 被害者支援団体支援世帯　７世帯・子ども 18 名
　　③　市支援対象児童等見守り強化事業 利用世帯　６世帯・子ども 14 名

関係資料 P.99

成果

経済的な理由からクリスマスケーキを諦めていた世帯もあり、家族で楽しい思い出を作ることができ、子どもの健全な育成の一助につながった。

○ **親子ふれあいバスハイク事業**

生活に困窮する世帯の子どもたちを対象に、親や祖父母と季節感のある余暇活動を楽しむ機会と子どもたちが心豊かに、健全に育っていくための一助となることを目的に、歳末たすけあい募金の配分事業として実施した。

- 開催日　令和８年１月 17 日（土）
- 場　所　日立市かみね公園・ヘレナストロベリーランド
- 参加人数　２世帯　７名
  生活困窮者生活サポート事業利用世帯のうち子どものいる世帯

成果

経済的な理由から家族旅行の経験の乏しい世帯に対し、親子での交流を深めるとともに、生きることの楽しみを感じることにつながり、子どもの健全な育成の一助につながった。

また、親子の関わり方をみることで、日頃の家庭内の様子を知る機会となった。

関係資料 P.99

○ **生活・就労支援センター運営事業　※市受託事業**

再掲 P.11～13

○ **生活資金貸付事業**

低所得世帯であって、一時的に生活費・医療費・修学費、その他これらに準ずる経費に困窮する世帯に対し、経済的自立の助長あるいはその世帯の生活安定を図るための資金貸付を行った。

1　生活資金貸付状況

- 貸付決定件数：　182 件（令和６年度：206 件）
- 貸付決定総額：　3,577,500 円（令和６年度：3,431,540 円）

＜内訳＞

取扱地区	貸付決定件数（件）	貸付決定総額（円）	取扱地区	貸付決定件数（件）	貸付決定総額（円）
平	62	980,500	小　川	3	70,000
小名浜	32	603,000	好　間	1	5,000
勿　来	47	910,000	三　和	0	0
常　磐	17	495,000	田　人	0	0
内　郷	10	306,000	川　前	0	0
四　倉	5	100,000	久之浜・大久	3	70,000
遠　野	2	38,000	合　計	182	3,577,500

成果

生活保護受給までの生活費や生活福祉金決定までのつなぎなど、緊急一時的な支援を行うことができた。過去の滞納等により生活福祉資金での対応が難しい世帯や、生活保護受給からの相談が多くなっており、慢性的な困窮が背景にみられることから、関係機関と連携を図り根本的な生活困窮からの脱却に向け支援を行っていきたい。

○　生活福祉資金貸付事業　※県社協受託事業

低所得世帯・高齢者世帯・身体障がい者世帯の経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的に低利で資金を貸し付けるとともに、民生児童委員による必要な援助・指導を行った。

また、緊急小口資金の特例貸付の借受人（世帯）に対し、社協がこれまで培ってきたソーシャルワーク機能を発揮し、福島県社協及び福島県内市町村社協、関係機関等が連携・協働しながら、フォローアップ支援の実施に努めた。

1　生活福祉資金貸付状況

- 貸付決定件数：68 件（令和６年度：68 件）
- 貸付決定総額：9,783,000 円（令和６年度：11,436,000 円）

2　コロナ特例貸付利用世帯へ生活状況の確認と福祉ニーズへの対応

関係資料 P.94

コロナ特例貸付利用世帯に対し、福島県社協が「暮らしに関するアンケート」を送付。

アンケートを送付した世帯（991 世帯）に対し、本会では相談パンフレットの送付や架電、訪問による生活状況の確認を行い、福祉ニーズへの対応を行った。

- 相談パンフレット送付件数　688 件
- 架電件数　325 件
- 訪問件数　252 件

成果

生活福祉資金の貸付相談を切り口に、生活困窮に至った経緯を把握し根本的な課題にアプローチしながら解決に向け伴走型の支援を行うことができた。一方で、コロナ特例貸付以降、滞納者が増加しており、新たな貸し付けが難しく本事業だけでは解決しない事案が増えていることから、関係機関と連携を図り引き続き対応にあたっていきたい。

○　法外援護事業の実施

行路人に対し、いわき市から市外に転出するまでの旅費（交通費）と食糧等を支給。

- 令和７年度支給実績　11 件、10,100 円（令和６年度：16 件、12,200 円）

成果

旅費と一時的な食糧等を支給することにより、市外へ転出するための一助となった。

○　**生活困窮世帯見舞金配分事業の推進** 歳末たすけあい運動の一環として、在宅の生活困窮世帯（生活保護世帯を除く。）が、新たな年を迎えることができるよう支援することを目的に、歳末見舞金を支給した。 ・　給付実績　449 世帯　844 名　5,675,000 円 （令和６年度　468 世帯　900 名　5,976,000 円） ＊　給付額：１世帯 10,000 円を基本とし、家族が１人増えるごとに 3,000 円を加算。 成果 民生児童委員が友愛訪問を兼ねて見舞金を支給することで、生活困窮世帯が抱えるさまざまな相談も受けるとことができ、対象世帯の心のケアが図られた。	関係資料 P.99

基本計画１－６　社会的孤立対策の充実（自殺、ひきこもり、犯罪者の社会復帰）

実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2～3
○　**各種事業の開催（地域の居場所づくり等）** ○常磐地区 湯～らり温泉めぐり事業 開催日：令和７年７月から令和８年３月まで（８月・12 月・１月の繁忙期は除く） 計 12 回 場　所：吹の湯、新つた、古滝屋、パームスプリング 参加者：延べ 198 名 ○勿来地区 地域の居場所づくり（子どものための料理教室／こども食堂） 開催日：毎月、第３金曜日　年 12 回 場　所：勿来公民館・錦公民館 内　容：カレー作り、季節の料理とデザート作り 参加者：参加親子　延べ 53 世帯　80 名 ボランティア　延べ 161 名 共　催：勿来地区ボランティア連絡会 協　力：主任児童委員・一般ボランティア ○三和地区 地域子育て支援事業 開催日：令和７年５月 18 日、９月 28 日 場　所：三和ふれあい館	

内　容：子育て中の親子の仲間づくりや出会いの場づくり 参加者：延べ 11 組 ○川前地区 地域高齢者交流事業 開催日：令和７年４月から令和８年３月まで　計 11 回 場　所：川前公民館 参加者：延べ 111 名 成果 高齢者、子どもたちやその親を対象に定期的に開催することで、見守りや生活支援、自立の助長につながった。また、勿来地区ボランティア連絡会等、関係機関との連携も図ることができた。	
○　**つどいの場創出支援事業　※市受託事業**	再掲 P.5
○　**子育てサロン事業**	再掲 P.23
○　**生活支援相談員等配置事業　※県社協受託事業**	再掲 P.21
○　**地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）　※市受託事業**	再掲 P.24
基本計画１－７　多文化との共生	
実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2 ～3
○　**青少年福祉体験学習事業**	再掲 P.27 ～28
○　**サマーショートボランティアスクール事業**	再掲 P.29

基本目標２　支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために	
基本計画２－１　福祉意識の醸成	
実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2 ～3
○　**各種事業の開催（ボランティア活動育成・世代間交流等）** **１　ボランティア活動育成** 関係機関等の協力のもと、社協職員等が講師を務め、ボランティア活動を推進するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。 ○勿来地区 高校生のためのボランティア講座 開催日：令和８年３月３日 場　所：川部公民館 内　容：磐城農業高等学校生と考える男の料理教室における「ひなまつり献立作り」 参加者：５名（磐城農業高校生・地域住民） ○常磐地区 ふれあい・ともいき映画観賞会 開催日：令和７年６月 29 日 場　所：いわきゆったり館 内　容：ドキュメンタリー映画２本の鑑賞 参加者：48 名（地域住民） ○内郷地区 ボランティア養成講座 開催日：令和７年 11 月 13 日 場　所：総合保健福祉センター 内　容：住民支え合い事業、みんなで楽しむレクリエーション 参加者：11 名（地域住民） ボランティア講座 開催日：令和７年 11 月 14 日 場　所：生涯学習プラザ 内　容：災害ボランティアについて考えてみよう 参加者：37 名（地域住民）	

○四倉地区

ボランティア育成講座

開催日：令和８年２月２日

場　所：四倉公民館

内　容：災害時の食の確保（ポリ袋を使用した調理実習）

災害ボランティア講話・ワークショップ

参加者：19 名（地域住民）

○小川地区

地域サポーター養成講座

開催日：令和８年２月 15 日

場　所：高萩公民館

内　容：夢食堂アルテミスでのボランティア（子ども食堂）

調理方法の実践

参加者：５名（地域住民）

○好間地区

ボランティア講座

開催日：令和８年２月 27 日

場　所：好間公民館

内　容：みんなでつくる　やさしい地域、住民支え合い活動の紹介

参加者：19 名（地域住民）

児童・生徒のふくしの教室

開催日：令和７年５月 13 日

場　所：好間第二小学校

内　容：高齢者疑似体験・車椅子体験

参加者：45 名（４年生）

開催日：令和７年９月４日、９月 11 日

場　所：いわき総合高等学校好間校舎

内　容：福祉の基礎知識と対人支援方法、認知症サポーター養成講座

参加者：５名（３年生）

開催日：令和７年 10 月 16 日、11 月 13 日

場　所：いわき総合高等学校好間校舎

内　容：手話講座、介護技術

参加者：５名（３年生）

○三和地区
ボランティア講座
開催日：令和８年３月 16 日
場　所：三和ふれあい館
内　容：傾聴ボランティアについて
参加者：25 名（地域住民）

○田人地区
ボランティアの養成
開催日：令和８年３月 19 日
場　所：田人支所
内　容：高齢者「介護保険について」
参加者：30 名（地域住民）

○久之浜・大久地区
ボランティア研修会
開催日：令和８年１月 28 日
場　所：久之浜・大久ふれあい館
内　容：生きづらさを抱えた若者への支援
参加者：30 名（地域住民）

成果
各種講座の開催により、傾聴の大切さや、災害時の対応方法など、幅広く地域福祉について学ぶことができた。また、ボランティア活動に対する興味や参加へのきっかけづくりとなった。

2　世代間交流事業

児童と高齢者との交流の場を提供し、子どもたちの福祉の心を育むとともに、高齢者の生きがいづくりを目的として開催した。

○内郷地区
防火 de ふれあう
開催日：令和７年 11 月８日
場　所：内郷公民館
内　容：防火啓発活動、友愛訪問
参加者：62 名（地域住民）

○四倉地区

地域交流事業【おやこもちつき大会】

開催日：令和７年 12 月 24 日

場　所：四倉公民館

内　容：もちつきを通した住民交流

参加者：延べ 150 名（児童等）

○遠野地区

多世代交流事業

開催日：令和７年 12 月 21 日

場　所：上遠野公民館

内　容：クリスマス会を通した住民交流

参加者：38 名（地域住民）

○三和地区

ふれあい交流会

開催日：令和７年 10 月８日

場　所：上三坂公民館

内　容：いわき FC の選手と住民交流

参加者：52 名（地域住民）

敬老交流会

開催日：令和７年 11 月４日

場　所：三和小・中学校

内　容：昔遊び、わら細工

参加者：28 名（児童、生徒、地域住民）

○田人地区

まなびの里田人交流事業

開催日：令和７年 11 月 28 日

場　所：田人小・中学校

内　容：田人地区老人クラブ連合会と子どもたちとの交流

参加者：102 名（地域住民）

成果

地域性を活かし、世代間の交流を図り、青少年の福祉意識の醸成につなげるとともに、高齢者の健康増進につなげることができた。

○　青少年福祉体験学習事業

再掲 P.27～28

○　**サマーショートボランティアスクール事業**

再掲 P.29

○　**いわき市総合社会福祉大会の開催**

市と共催により、市内の保健・医療・福祉・教育等の関係機関・団体及び一般市民が一堂に会し、広く福祉問題を考え、本市の社会福祉を総合的に高めていくことを目的に開催した。

＜第51回いわき市総合社会福祉大会＞

開催日	令和7年11月26日（水）	
開催場所	いわき芸術文化交流館　アリオス	
記念講演	演題：『共に支えあうまちづくり』 講師：KT福祉研究所代表／民生委員活動研究者　松藤　和生　氏	
参加者数	754名	
表彰等	1　市長感謝状贈呈	5名
	2　大会会長表彰状贈呈	55名／1団体
	3　大会会長感謝状贈呈	17名／3団体
	合　計	77名／4団体

（令和6年度：83名／3団体）

（開催までの経過）

・令和7年　9月11日　第51回いわき市総合社会福祉大会 事務局会議
（社会福祉センター）

・令和7年　9月29日　第51回いわき市総合社会福祉大会 運営委員会
（社会福祉センター）

・令和7年11月19日　第51回いわき市総合社会福祉大会 合同職員会議（市、社協職員）
（社会福祉センター）

成果

保健・医療・福祉に従事する方の功績を表彰することにより、担い手一人ひとりの意欲の維持・向上につなげるとともに、記念講演の実施により、福祉に関する幅広い知識の習得及び関係者の資質向上を図ることができた。

○　**各種大会への参加**

各種大会等に役職員が参加し、他団体からの参加者との交流や情報交換等を通じて、地域福祉活動の推進に努めた。

・令和7年10月23日　第79回福島県社会福祉大会（会津風雅堂）　参加者8名
・令和7年11月12日　全国社会福祉大会（浅草公会堂）　参加者2名

成果

福祉に関する幅広い知識を習得し、本会役職員の資質向上を図った。また、市総合社会福祉大会に係る運営の参考とした。

○　**広報紙の発行**

社会福祉協議会の取り組みへの理解促進とご協力をいただくため、いわき市社協だよりを発行。

各地区協議会においても広報紙を発行し、情報提供と理解の促進に努めた。

なお、編集にあたっては、役員３名と職員７名による広報委員会を設置し、より分かりやすく、親しみやすい構成に努めた。

１　いわき市社協だよりの発行

・発行部数：115,000 部（全世帯配布）

・発行状況：令和７年　７月 15 日　　いわき市社協だより第 155 号
　　９月 15 日　　〃　　第 156 号
　　令和８年　１月 15 日　　〃　　第 157 号
　　４月 15 日　　〃　　第 158 号

２　地区協議会だよりの発行

地　区	発行部数	地　区	発行部数
平	34,500	小　川	2,500
小名浜	24,500	好　間	4,400
勿　来	15,500	三　和	1,300
常　磐	12,000	田　人	700
内　郷	10,000	川　前	500
四　倉	5,200	久之浜・大久	1,750
遠　野	1,500	合　計	114,350

成果

広報紙を用いての事業紹介や報告等、広く市民に向けて情報を提供することにより、活動への参加や事業への協力を得ることができ、情報発信の重要な役割を担うことができた。

○　**ホームページ及びフェイスブック等による情報発信**

本会の事業等の情報をホームページ及び Facebook に掲載し、情報提供に努めた。

成果

タイムリーな情報更新に努め、本会事業の情報発信および事業周知ができた。

基本計画２－２　地域福祉の担い手づくり

実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2～3
○　**つどいの場創出支援事業　※市受託事業**	再掲 P.5

○　各種事業の開催（ボランティア活動育成・住民支え合い活動連絡会等）

○平地区

みんなでつながる支え合い研修会（平在宅療養多職種連携のつどい）

開催日：令和７年 12 月 18 日
場　所：いわき市文化センター
内　容：高齢化の事態と現状、いわき市住民支え合い活動づくり事業について
参加者：30 名（地域住民）

開催日：令和８年３月 27 日
場　所：いわき市社会福祉センター
内　容：高齢化の事態と現状、いわき市住民支え合い活動づくり事業について
いわき市いきいきシニアボランティアポイントについて
参加者：４名（住民支え合いサポーター）

○内郷地区

内郷地域づくり連絡会（新規）

開催日：令和７年９月 30 日
場　所：いわき市総合保健福祉センター
内　容：福祉と防災のまちづくりについて
参加者：11 名（地域住民）

○好間地区

地区団体ネットワークづくり交流会

開催日：令和８年１月 21 日
場　所：社会福祉法人みどりの杜福祉会いわきワイナリー
内　容：みどりの杜福祉会の活動紹介、意見交換
参加者：13 名（企業、団体、法人職員等）

地域福祉講座

開催日：令和８年３月 13 日
場　所：好間公民館
内　容：空き家の相談先、どう探す？
参加者：27 名（地域住民）

支え合いのまちづくり交流会

開催日：令和７年４月 27 日、８月 31 日、10 月 20 日
場　所：隅田川集会所、榊小屋集会所、今新田公民館
内　容：住民支え合い活動の取り組み紹介
参加者：32 名

○川前地区

高齢者おでかけ応援事業【小さな拠点おおか】

開催日：令和７年４月から令和８年３月まで

場　所：川前地区から小野町方面への移動支援（運賃助成）

参加者：延べ 57 名

成果

地域活動の充実・展開に向けた対応を考える機会となった。また、地区内の社会資源の把握や第３層協議体の実施状況の意見交換をすることで、情報の共有が図られた。

○　福祉職場での実習生の受け入れ及び連絡調整

福祉の職場実習先として、本市出身の社会福祉専門職を目指す大学生を積極的に受け入れるとともに、他の福祉職場での実習に関する連絡調整を行い、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。

	受入期間	備考
ソーシャルワーク実習 社会福祉援助技術実習 ソーシャルワーク実習Ⅱ	令和７年８月１日 ～９月 11 日	東日本国際大学（１名） 東北福祉大学（１名）
	合　計	２校（２名）

＊令和６年度：３校（３名）

成果

実習生の受け入れを行うことにより、実際の現場を肌で感じてもらいながら専門職としての価値規範、専門的知識や経験等を学んでもらうなど、これからの福祉を担っていく人材の育成に貢献することができ、職員の資質向上にもつながった。

○　各種福祉講座等へ職員を講師として派遣

保健福祉行政に新たに携わる職員向け講座や他市町村社協が実施する災害ボランティア養成講座等へ講師として職員を派遣し、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。

令和７年　９月 28 日	みなみそうま市民ふくし大学「災害ボランティア講座」 （原町区福祉会館）
令和７年 11 月 10 日	令和７年度新任ケースワーカー研修（後期） （市総合保健福祉センター）
令和７年 12 月　２日	災害ボランティアセンター運営コーディネーター研修 （とちぎ福祉プラザ）
令和８年　１月 15 日	令和７年度「茨城県内社会福祉協議会職員災害初動期対応チーム」ステップアップ研修（ICT 編） （セキショウ・ウェルビーイング福祉会館）
令和８年　２月 28 日	葛飾区災害ボランティア講座 （葛飾区シニア活動センター）

○　**青少年福祉体験学習事業**	再掲 P.27 ～28
○　**サマーショートボランティアスクール事業**	再掲 P.29
○　**広報紙の発行**	再掲 P.49
基本計画２－３　福祉ボランティア活動などの推進	
実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2 ～3
○　**各種事業の開催（ボランティア活動育成・ボランティア連絡会等）** **1　ボランティア活動育成** **2　ボランティア連絡会等**	再掲 P.27 ～29
○　**青少年福祉体験学習事業**	再掲 P.27 ～28
○　**サマーショートボランティアスクール事業**	再掲 P.29
○　**福祉活動支援バス借上げ助成事業の実施** 市内で活動する福祉団体及びボランティア団体等が、バスを借上げて各種研修会や大会等に参加するのを支援するとともに、地域福祉の向上に寄与することを目的に、バス借上げ費用の一部を助成。 ・助成団体数　13 団体（令和６年度：12 団体） ・助成金　445,000 円（令和６年度：400,000 円） ※助成は年１回。バス借上げ経費の 50％・３万円上限。１泊以上の場合は５万円上限。 成果 本事業を活用することで、各種団体が研修会等へ参加する一助につながった。	
○　**いわき市ボランティア連絡協議会の活動の支援** ボランティア団体の充実強化や、ボランティア活動の振興を図る目的で組織された「いわき市ボランティア連絡協議会」が取り組む活動を支援。	

令和　7年　4月 26日　ボランティア連絡協議会定期総会 10月 18日　いわき市ボランティア団体交流会 令和　8年　2月 28日　いわき市内ボランティアフェスティバル 成果 ボランティア連絡協議会と連携することにより、本市のボランティア活動の発展につなげることができた。 また、ボランティア団体交流会では、多数の団体が参加し、互いの活動内容を確認するとともに、市民に対しても、各団体のボランティア活動を周知する機会となった。	
○　いわき市老人クラブ連合会の活動の支援 「いわき市老人クラブ連合会」の事務局を担い、高齢者作品展と芸能祭、さらには、各単位老人クラブが実施する一人暮らし高齢者への友愛訪問など、高齢者の社会参加や生きがいづくり、健康増進を図ることを目的に実施するさまざまな活動を支援した。 令和　7年　6月 27日　シルバーピアード 2025　第1回実行委員会 8月 26日　第7回いわき市シルバー歌謡祭　第1回実行委員会 8月 27日　シルバーフェア 2025　第1回実行委員会 8月 29日　シルバーピアード 2025 9月 12日　第29回福島県高齢者芸能発表祭（県主催） 10月 8日　浜通り地区ふれあいニュースポーツ交流大会（県主催） 10月 17日　第7回いわき市シルバー歌謡祭 10月 31日　ふれあいニュースポーツ交流大会　チャンピオン大会（県主催） 11月 10日　シルバーフェア 2025　第2回実行委員会 11月 18日　シルバーフェア 2025　芸能祭 12月 11日　シルバーフェア 2025　創作展（～15日） 令和　8年　2月 25日　シルバーフェア 2025　第3回実行委員会 3月 18日　ふれあい旅行（福島県猪苗代方面：110名参加） 成果 老人クラブ会員が中心となり、地域で活動する65歳以上の高齢者とともに、社会参加や生きがいづくり、健康増進の推進につなげることができた。	
○　広報紙の発行	再掲 P.49
○　ボランティア活動センター運営事業 1　ボランティア相談・登録の状況 ニーズ受付件数　36件（令和6年度：31件） マッチング件数　27件（令和6年度：25件）	

個人ボランティア登録数　166名：うち新規登録数　19名
団体ボランティア登録数　131団体：うち新規登録数　9団体

成果

施設や団体からの相談、また、地域住民からボランティアをしたいとの相談が増え、それぞれのニーズに応じたマッチングを行い、地域活動に貢献することができた。

○ **ボランティア保険の加入促進**

市民が安心して、継続的にボランティア活動ができるよう、全国社会福祉協議会ボランティア活動保険の加入を促進した。

1　補償内容

ボランティア活動中のさまざまな事故による負傷などへの備えや、活動先からの賠償請求に対する補償

2　ボランティア活動保険

プラン	保険料（掛金）	加入者数
基本プラン	350円	3,060名
天災・地震保障プラン	500円	548名
	合　計	3,608名

（令和6年度：2,490名）

3　ボランティア行事用保険

・　加入申込み件数　33件／2,274名（令和6年度：48件／3,528名）

成果

ボランティアが安心して活動できるよう保険加入の促進に努めた。

また、住民支え合い活動に取り組む支え合いサポーターに対しては、本会の助成により、特定感染症重点プランの加入を行い、安全かつ安心して活動ができるよう体制構築を図った。

○ **ボランティアルームの貸し出し**

ボランティア相互の情報交換や、交流の場、さらには活動拠点として、ボランティア団体を対象にボランティアルームの貸出や、コピー機の貸出を無料で提供している。

ボランティアルームの貸出（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

提供場所	いわき市社会福祉センター1階	利用件数	利用者数
利用時間	午前9時から午後9時	145件	1,043名
利 用 料	無料（要予約）		

（令和6年度：156件／847名）

・団体事務室の貸　　85 件　（令和６年度：88 件）
・録音室の貸出　　382 件　（令和６年度：353 件）
※利用者数　892 名　（令和６年度：816 名）
・コピー機の提供　　381 件　（令和６年度：373 件）
・ロッカーの貸出　　14 台（18 台中）

成果
多くのボランティア団体が、ボランティア相互の情報交換や交流の場として活用を図ることができた。

○　**災害ボランティアセンター運営事業**

再掲 P.6

○　**災害見舞金配分事業**

火災、水害等の罹災者に対し、福島県共同募金会より配分を受けて見舞金を支給した。

地区名	災害内容件数（件）				配分額（円）
	火災	床上浸水	その他	合計（件）	
平	4	0	0	4	60,000
勿　来	2	0	0	2	20,000
常　磐	1	0	0	1	25,000
遠　野	2	0	0	2	20,000
合　計	9	0	0	9	125,000

（令和６年度：12 件／145,000 円）

＊見舞金の額は罹災者１世帯当たり 10,000 円（半焼、床上浸水は 5,000 円）、
死亡者１名につき 10,000 円を加算。

○　**ボランティア基金の運営（ボランティア活動助成事業）**

福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動の推進を図ること等を目的として、ボランティア活動助成を行った。

1　募集期間　　令和７年４月１日から　４月 25 日まで
６月３日から 12 月 26 日まで（追加申請期間）

2　ボランティア基金運営委員会の開催
開催日：令和７年５月 26 日
場　所：いわき市社会福祉センター
内　容：(1) 令和６年度いわき市ボランティア活動助成金申請・配分結果ついて
(2) 令和７年度いわき市ボランティア活動助成金配分について

関係資料 P.89～90

3　ボランティア活動助成状況 助成団体：19 団体（令和６年度：12 団体） 助成総額：3,827,215 円（令和６年度：2,235,400 円） 成果 助成金の活用によりボランティア活動の活性化が図られ地域福祉の増進につながった。	
○　**年末年始　地域ささえあい助成事業**	再掲 P.7
○　**民間資金等の活用によるボランティア団体の活動支援** 民間の公益補助団体等が、ボランティアの育成支援を目的に実施する活動資金助成事業について情報提供するとともに、申請手続きの支援等を通じてボランティア団体等の活動を支援した。 ＜助成金の名称＞ 1　公益財団法人 大和証券福祉財団「2026 年度ボランティア活動助成」 2　公益財団法人 みずほ教育福祉財団「令和７年度ボランティア活動資金助成事業」及び第３回「配食用小型電気自動車寄贈事業」 3　公益財団法人 SOMPO 福祉財団「住民参加型福祉活動資金助成」 4　公益財団法人 ヤマト福祉財団「ヤマト福祉財団助成金」 5　公益財団法人 ユニベール財団「2025 年度ユニベール財団特定助成」 6　社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団「わかば基金」 7　いわき市地域共生社会まちづくり事業 8　公益財団法人 福島民友愛「民友愛の事業団」 9　公益財団法人 大同生命厚生事業団 2025 年度「ボランティア活動助成」 10　「コープふくしま福祉活動助成金」 成果 登録ボランティア団体等への情報提供により、活動支援の強化が図られた。	
○　**赤い羽根共同募金運動の推進** 社会福祉施設や社会福祉団体等が行う、民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金運動を推進するとともに、通年型募金箱の設置箇所の開拓や街頭募金・職域募金等の拡充強化を図り、募金実績の増強に努めた。 ＜推進期間＞　令和７年 10 月１日から令和８年３月 31 日まで ＜募 金 額＞　43,465,201 円（令和６年度実績額：44,844,014 円）	関係 資料 P.98

（内　訳）

	募金額
1　戸別募金	35,864,215円
2　街頭募金	462,892円
3　法人募金	3,730,579円
4　学校募金	1,655,583円
5　職域募金	1,204,542円
6　イベント募金	197,038円
7　個人募金	70,758円
8　その他の募金	279,594円
合　計	43,465,201円

＊街頭募金実施箇所　　本部・平・小名浜・勿来・常磐・内郷・四倉・好間分会
＊イベント募金実施箇所　　常磐・遠野・小川・好間・三和・川前・久之浜・大久分会

成果

各地区で街頭やイベントで募金活動を行うことにより、赤い羽根共同募金の啓発につながった。

また、社会福祉施設や社会福祉団体等が行う民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金としての役割を果たすことができた。

○　**歳末たすけあい運動の推進**

支援を必要としている人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉・在宅福祉サービス事業を重点的に展開していくため、新たな年を迎える時期に、地域住民やボランティア、民生児童委員、社会福祉施設、さらには関係機関や団体等の協力のもと「歳末たすけあい募金活動」を実施した。

＜募金額＞　22,615,522円（令和６年度：23,338,724円）
＜配分状況＞

	配分数	配分額
1　在宅見舞金配分	449世帯	5,675,000円
2　地域福祉事業配分		8,179,604円
合　計		13,854,604円

（令和６年度：14,483,852円）

成果

令和６年度と比較すると実績額は減少しているが、各地区で歳末時期に実施する地域福祉事業や生活困窮者に対する事業、第３層協議体の見守り活動等に適切に配分することができた。

関係資料P.99

基本計画２－４　見守り支援体制の整備	
実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2 ～3
○　**つどいの場創出支援事業　※市受託事業**	再掲 P.5
○　**各種事業の開催（高齢者友愛訪問・夕食宅配サービス等）** 福祉推進委員・民生児童委員の協力を得て、地区内のひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、安否確認や心配事等に対応していくとともに、地域の支えあいを目的として実施した。 ○遠野地区 在宅支援友愛訪問 開 催 日：令和７年 12 月６日 場　　所：遠野管内 対象世帯：154 世帯 内　　容：シクラメンの鉢植えを持参し友愛訪問 協 力 者：27 名（福祉推進員、民生児童委員） ○小川地区 高齢者いきいき訪問事業 開 催 日：令和７年７月 25 日 場　　所：小川管内 対象世帯：221 世帯 内　　容：熱中症予防の呼びかけと世帯状況の把握 協 力 者：20 名（民生児童委員） ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業 開 催 日：令和８年１月 23 日 場　　所：小川管内 対象世帯：167 世帯 内　　容：心配ごと相談、話し相手、交通安全・防犯・悪質商法対策の情報提供 協 力 者：20 名（民生児童委員） ○三和地区 ふれあい配食サービス事業 開 催 日：令和７年 12 月６日 場　　所：三和管内	

対象世帯：13 世帯
内　　容：三和町ふれあい市場「かあちゃん弁当」を宅配しながら世帯状況を把握
協 力 者：７名（民生児童委員）

○田人地区
熱中症予防対策事業
開 催 日：令和７年８月 21 日
場　　所：田人管内
対象人数：延べ 180 名
内　　容：スポーツドリンクを届けながら脱水症予防の声掛け・安否確認の実施
協 力 者：17 名（民生児童委員）

にこにこ配食サービス事業
開 催 日：令和７年 12 月６日、12 月 13 日
場　　所：田人管内
対象人数：延べ 180 名
内　　容：お弁当の配食・安否確認の実施
協 力 者：17 名（民生児童委員）

○川前地区
歳末たすけあい友愛訪問
開 催 日：令和７年 11 月 12 日
場　　所：川前管内
対象世帯：75 世帯
内　　容：シクラメン花鉢配布・安否確認の実施
協 力 者：９名（福祉推進員、民生児童委員）

○久之浜・大久地区
夕食宅配サービス事業
開 催 日：令和７年 12 月 13 日
場　　所：久之浜・大久地区内
対 象 者：185 名
内　　容：温かいお弁当を手渡しながら、安否確認と相談活動
協 力 者：17 名（民生児童委員）

成果
協力者の訪問をとおし、一人暮らし高齢者の孤独感の解消を図り、日頃からの見守り体制の構築につなげることができた。

○ **ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業の実施**

いわき市老人クラブ連合会が、単位老人クラブごとに組織的に実施する「ひとり暮らし高齢者等への友愛訪問活動事業」に対し、歳末たすけあい運動の一環として助成金（400,000円）を交付し、その活動を支援した。

訪問実績　360名（寝たきり高齢者　40名、ひとり暮らし高齢者　320名）

（令和6年度：304名（寝たきり高齢者　43名、ひとり暮らし高齢者　261名）

成果

地域内のひとり暮らし高齢者等を訪問活動することで、会員の拡充と高齢者が安心して暮らすための地域づくりにつなげることができた。

○ **福祉情報誌配布と見守り訪問事業の実施**

歳末たすけあい運動の一環として、民生児童委員の協力を得て、日常生活に役立つ保健・福祉情報を盛り込んだ「健康カレンダー」を配布するとともに、見守りや相談援助活動を行い、高齢者が地域で安心して生活できるよう支援した。

対象者：緊急連絡カード（兼）救急医療情報キットを配備しているひとり暮らし高齢者等

配布数：14,000世帯

成果

高齢者が安心して暮らすための各種情報として、社協事業の紹介と併せ、いわき市・地域包括支援センター・警察署等の取り組みを紹介し、身近な相談窓口の周知につながった。

関係資料P.99

○ **子育てサロン事業**

再掲P.23

○ **生活困窮者生活サポート事業**

再掲P.14～16

○ **地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）　※市受託事業**

再掲P.24

○ **緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業**

緊急連絡カード（兼）救急医療情報キットの配付を通して、ひとり暮らし高齢者世帯・避難行動要支援者名簿登録者等の見守りや、日常生活全般にわたる自立支援、事故防止等のサポート体制づくりに努めた。

＜配備状況＞　（単位：名）

地区名	配備者数	地区名	配備者数	地区名	配備者数
平	1,670	四　倉	402	田　人	274
小名浜	846	遠　野	205	川　前	120
勿　来	715	小　川	147	久之浜・大久	323
常　磐	381	好　間	331	合　計	5,961
内　郷	386	三　和	161		

（令和6年度　6,407名）

成果

ひとり暮らし高齢者等や避難行動要支援者名簿登録者の情報を把握することができ、地域内で孤立しがちな住民の発見と見守り体制の構築につなげることができた。

また、高齢者を狙った悪質な訪問販売等の犯罪被害から見守ることができた。

○　支え合い福祉マップ作成事業

「避難行動要支援者マップ」を基本に地域の様々な情報を加え、住民支え合い活動やつどいの場創出支援事業等の推進につなげるとともに、災害危険エリアの表示を加えることで、災害時においても有効に活用できるマップ作成を実施した。

＜令和７年度実績＞

地区名	実施地区	実施日	参加人数
遠野	下根本地区	令和７年10月１日	３名
田人	出旅人地区	令和８年１月26日	12名

成果

これまでマップを作成してきた地域に居住する対象者の情報更新を図ることで、新たな対象者の発掘や、地域における危険箇所等の情報共有を図ることができた。

○　生活支援相談員等配置事業　※県社協受託事業

再掲 P.21

○　民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連絡会の開催

各地区の「民生児童委員協議会長」、「行政嘱託員連合協議会長」、「地区協議会会長」との三者連携強化を図るため、令和６年度の事業計画及び事業等の説明及び会員会費の加入促進に理解と協力を得るとともに意見交換を行った。

・開催日　：令和７年６月30日
・開催場所：いわき市社会福祉センター
・開催内容：「入居・入所・葬送等支援事業について」
　　【講師】地域福祉ネットワークいわき　新妻　登　氏
　　：「いわき市の空き家対策について」
　　【講師】住まい政策課空き家対策係長　山崎　宏介　氏

成果

民生児童委員協議会、行政嘱託員連合協議会と連携を図ることで、会員会費の推進強化、住民支え合い活動や要援護者の把握や見守り活動など、本会が重点事業に掲げた住民主体の支え合い活動の充実につなげることができた。

○　民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連携

1　民生児童委員との連携強化

情報交換や協働を通じて、地域福祉や在宅福祉を円滑に進めるよう努めた。

(1)　民生児童委員と連携する主な事業

ア　生活福祉資金貸付事業
イ　緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業
ウ　住民支え合い活動づくり事業
エ　住民支え合い事業
オ　つどいの場創出支援事業
カ　共同募金関係事業
キ　歳末配分事業
ク　歳末配分援護世帯の調査及び見舞金の支給

(2)　地区協議会において単位民協定例会へ出席し、情報交換を行った。

ア　社協関係事業情報提供
イ　各種調査による情報収集

2　行政嘱託員（区長）との連携強化

行政嘱託員・区長との連携を強化し、募金活動や地域福祉活動への協力をいただきながら、地域福祉の向上に努めた。

(1)　行政嘱託員・区長と連携する主な事業

ア　住民支え合い活動づくり事業
イ　住民支え合い事業
ウ　会員会費の推進
エ　共同募金運動の推進
オ　社協広報紙の配布
カ　つどいの場創出支援事業

基本計画２－５　虐待防止体制の充実

実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2～3
○　**つどいの場創出支援事業　※市受託事業**	再掲 P.5
○　**各種事業の実施（介護者友愛訪問・在宅介護者支援・虐待防止講座等）**	

日頃、寝たきり高齢者等の介護に専念されている介護者を対象に、花鉢を届けながら交流し、在宅介護者の精神安定につなげることを目的に実施した。また、子どもや高齢者、障がい者の権利を守るために必要な知識や制度についての講座も開催した。

○三和地区

介護者・ほっと一息支援事業

開 催 日：令和７年 12 月６日

場　　所：三和管内

対象世帯：10 世帯

内　　容：在宅介護者へ花鉢を届け、高齢者・介護者の現状確認を行う

○田人地区

在宅介護者との交流事業

開 催 日：令和７年 12 月 21 日

場　　所：田人管内

対象世帯：19 世帯

内　　容：在宅介護者へ花鉢を届け、高齢者・介護者の現状確認を行う

○久之浜・大久地区

在宅介護者支援事業

開 催 日：令和８年２月 17 日

場　　所：久之浜・大久管内

対象世帯：12 世帯

内　　容：在宅介護者へ慰労品を届け、高齢者・介護者の現状確認を行う

成果

花鉢を届けることにより交流の機会が得られ、在宅介護者に寄り添い、心身の慰労につなげることができた。また、子ども虐待防止の養成講座では、虐待についての理解を深めることができた。

○ **子育てサロン事業**	再掲 P.23
○ **生活困窮者生活サポート事業**	再掲 P.14 ～16
○ **地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）　※市受託事業**	再掲 P.24
○ **日常生活自立支援事業（あんしんサポート）　※県社協受託事業**	再掲 P.19 ～20

○　成年後見（法人後見）事業	再掲 P.17 ～18
○　緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.60 ～61
○　介護保険事業	再掲 P.30
○　産前・産後ヘルパー派遣事業　※市受託事業	再掲 P.24 ～25
基本計画２－６　相談・支援機関のネットワーク強化	
実施項目／実施内容	備考
○　福祉総合相談事業	再掲 P.37
○　子育てサロン事業	再掲 P.23
○　地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）　※市受託事業	再掲 P.24
○　生活困窮者生活サポート事業	再掲 P.14 ～16
○　日常生活自立支援事業（あんしんサポート）　※県社協受託事業	再掲 P.19 ～20
○　成年後見（法人後見）事業	再掲 P.17 ～18
○　生活支援相談員等配置事業　※県社協受託事業	再掲 P.21
○　車椅子同乗移送用自動車貸出事業・車椅子貸出事業	再掲 P.34 ～35
○　介護保険事業	再掲 P.30 ～31
基本計画２－７　避難行動要支援者支援制度の充実	

実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2 ～3
○　**支え合い福祉マップ作成事業**	再掲 P.61
○　**緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業**	再掲 P.60 ～61
○　**避難者行動要支援者登録の推進** 「支え合い福祉マップ」の作成のための懇談会を通し、地域における要支援者の把握に努めるとともに、必要とされる方への避難行動要支援者登録について勧奨した。	
○　**いわき市総合防災訓練への参画** いわき市総合防災訓練における地区別訓練へ各地区協議会職員が参画し、関係機関及び地域住民等と災害時の避難訓練を実施した。 ・各地区防災訓練 開催日：令和７年６月 28 日 場　所：小名浜地区、四倉地区、遠野地区、好間地区、三和地区 ・いわき市総合防災訓練 開催日：令和７年 11 月 15 日 場　所：勿来地区、四倉地区、三和地区、田人地区、久之浜・大久地区 成果 災害時における、関係機関との連携方法や本会職員の担うべき役割等を確認することができた。	
○　**福祉避難所の支援** いわき市と福祉避難所への人材派遣に関する協定に基づき、大規模災害発生時において、福祉避難所が設置され要請があった場合は、介護等に従事する職員を派遣することとなっていることから、派遣に備えた介護等従事職員の体制を図った。	

基本計画２－８　防犯対策の充実

実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2 ～3

○　緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.60 ～61

基本計画２－９　交通移動手段や住まいの確保

実施項目／実施内容	備考
○　住民支え合い事業	再掲 P.4
○　住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○　いわき市社会福祉法人連絡会議 市内の社会福祉法人が一堂に会し、地域を取り巻く福祉に関する情報共有を図るとともに、法人間のつながりを強化し、地域貢献に対する情報交換の場となることを目的して開催する予定としたが、日程調整がつかず、開催することができなかったため、令和８年度については、開催に向けて、協議内容等を検討することとしたい。	

基本計画２－10　権利擁護・成年後見の充実

実施項目／実施内容	備考
○　福祉総合相談事業	再掲 P.37
○　生活・就労支援センター運営事業　※市受託事業	再掲 P.10 ～12
○　日常生活自立支援事業（あんしんサポート）　※県社協受託事業	再掲 P.19 ～20
○　成年後見（法人後見）事業	再掲 P.17 ～18
○　生活困窮者生活サポート事業	再掲 P.14 ～16

基本目標３　健康で自分らしい暮らしをつくるために

基本計画３－１　健康づくりの推進

実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2～3
○　**つどいの場創出支援事業　※市受託事業**	再掲 P.5
○　**子育てサロン事業**	再掲 P.23

○　**百歳賀寿の実施**

百歳の高齢者に対し記念品を贈呈し、その長寿を祝い、あわせて市民の間に広く高齢者福祉についての関心と理解を深めるとともに、高齢者の健康の増進に努める意欲を高めた。

居住地区	贈呈者（名）	居住地区	贈呈者（名）	居住地区	贈呈者（名）
平	41	四　倉	8	田　人	3
小名浜	32	遠　野	2	川　前	1
勿　来	20	小　川	4	久之浜・大久	8
常　磐	14	好　間	7	合　計	149
内　郷	8	三　和	1		

（令和６年度：120 名）

基本計画３－２　保健医療体制の充実

実施項目／実施内容	備考
○　**介護保険事業**	再掲 P.30
○　**障がい者福祉サービス事業**	再掲 P.35
○　**身体障がい者訪問入浴サービス事業**	再掲 P.35

○　保健・医療・福祉関係の各種会議等への参画

＜いわき市社会福祉審議会＞

令和	7年	9月10日	第1回民生委員審査専門分科会（文化センター）
		9月16日	第1回児童福祉専門分科会（文化センター）
令和	8年	1月30日	第2回児童福祉専門分科会（文化センター）
		3月16日	第3回児童福祉専門分科会（文化センター）

＜いわき市情報公開・個人情報保護審議会＞

令和	7年	7月 1日	第1回審議会（いわき市役所）
		9月18日	第2回審議会（いわき市役所）
		11月 27日	第3回審議会（いわき市役所）
令和	8年	3月17日	第4回審議会（いわき市役所）

＜いわき市への防災庁設置を目指す期成同盟会＞

令和	7年	5月 7日	第1回期成同盟会（いわき市役所）
	7年	7月 4日	第2回期成同盟会（いわき市役所）
	7年	8月 1日	第3回期成同盟会（いわき市役所）
令和	8年	1月26日	第4回期成同盟会（書面開催）

＜いわき市国民健康保険運営協議会＞

令和	7年	5月22日	第1回運営協議会（いわき市役所）
		7月10日	東北地方国保運営協議会代表者連絡協議会
		～11日	（仙台市江陽グランドホテル）
		9月25日	福島県国民健康保険運営協議会総会
		～26日	（ホテル福島グリーンパレス）

＜いわき市表彰選考委員会＞

令和	7年	7月 25日	表彰選考委員会（いわき市役所）

＜健康いわき推進会議＞

令和	7年	8月 22日	第1回会議（いわき市役所）

＜いわき市児童館運営委員会＞

令和	7年	10月14日	第1回運営委員会（いわき市役所）

＜いわき市地域自立支援協議会＞

令和	7年	6月23日	第1回協議会（いわき市役所）
		9月16日	第2回協議会（いわき市役所）

12月24日　第3回協議会（いわき市役所）
令和　8年　2月26日　第4回協議会（いわき市役所）

＜いわき市権利擁護支援ネットワーク推進運営委員会＞
令和　7年　6月26日　第1回受任調整・個別検討部会（市総合保健福祉センター）
7月29日　第1回委員会（文化センター）
令和　8年　3月18日　第2回受任調整・個別検討部会（市総合保健福祉センター）

＜奨学生選考委員会＞
令和　7年　4月16日　委嘱状交付式及び第1回選考委員会（いわき市役所）
9月10日　第2回選考委員会（いわき市役所）

＜いわき市社会福祉施設事業団＞
令和　7年　4月　1日　第134回理事会（市健康・福祉プラザ）
5月20日　第135回理事会（市健康・福祉プラザ）
6月20日　第136回理事会（市健康・福祉プラザ）
11月12日　第137回理事会（市健康・福祉プラザ）
令和　8年　1月28日　第138回理事会（市健康・福祉プラザ）
3月23日　第139回理事会（市健康・福祉プラザ）

＜日本赤十字社福島県支部＞
令和　7年　6月16日　第1回評議員会（日本赤十字社福島県支部）
令和　8年　2月　4日　第2回評議員会（日本赤十字社福島県支部）

＜いわき市都市計画審議会＞
令和　7年　7月　8日　第158回審議会（文化センター）
令和　8年　3月17日　第159回審議会（文化センター）

＜いわき市土木審議会＞
令和　7年　10月　2日　第1回審議会（いわき市役所）
令和　8年　3月　17日　第2回審議会（いわき市役所）

＜いわき都市圏総合都市交通推進協議会＞
令和　7年　5月　28日　第17回協議会（文化センター）
9月　4日　第18回協議会（文化センター）
9月　30日　第19回協議会（書面開催）

＜いわき市防災会議＞
令和　8年　2月9日　第1回会議（いわき市役所）

＜いわき市地域共生社会推進会議＞
令和　7年11月27日　第2回会議（市総合保健福祉センター）

<いわき見守りあんしんネット連絡会議>
令和　8年　1月8日　　連絡会議（市総合保健福祉センター）

<いわき地区障がい者福祉連絡協議会>
令和　7年　5月26日　　総会（中央台公民館）

<介護保険運営協議会>
令和　7年　8月21日　　第1回会議（いわき市役所）
令和　7年　12月17日　　第2回会議（文化センター）

<福祉介護人材確保に向けた検討部会>
令和　7年　9月　3日　　第1回会議（文化センター）
令和　8年　2月13日　　第2回会議（文化センター）

<いわき市要保護児童対策地域協議会>
令和　7年　3月19日　　代表者会議（市総合保健福祉センター）

<要保護児童対策地域協議会実務者会議>
令和　7年　8月29日　　第1回実務者会議（市総合保健福祉サンター）
令和　8年　2月10日　　第2回実務者会議（市総合保健福祉サンター）

<いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動>
令和　7年　4月　7日　　役員会（市役所議会棟）
　　4月21日　　全体会議（書面）

<いわき市社会を明るくする運動>
令和　7年　5月24日　　監査（社会福祉センター）

<いわき市障がい者職親会>
令和　7年　5月29日　　総会（産業創造館ラトブ）

<いわき市行政嘱託員(区長)連合協議会総会>
令和　7年　6月　2日　　総会（ワシントンホテル椿山荘）

<初級点訳者養成講習会開講式>
令和　7年　6月　2日　　開講式（社会福祉センター）

<福島県精神保健福祉協会いわき支部>
令和　7年　7月30日　　総会（市総合保健福祉センター）

<いわき市医療センター病院経営評価委員会>
令和　7年　8月19日　　第1回会議（医療センター）

令和　8年　1月 29日　　第2回会議（医療センター） ＜いわき市保健医療審議会歯科口腔保健協議部会＞ 令和　8年　1月 29日　　第1回会議（市総合保健福祉センター） ＜福島県防災会議＞ 令和　8年　3月 27日　　第1回会議（書面開催） ＜県社協関係＞ 令和　7年　5月 29日　　市町村社会福祉協議会事務局長等会議（ビックパレットふくしま） 6月　6日　　福島県社会福祉協議会理事会（県総合社会福祉センター） 6月 23日　　福島県社会福祉協議会理事会（県総合社会福祉センター） 5月 21日　　市町村社会福祉協議会事務局長等研修（オンライン） 7月 23日　　市町村社協連協事務局長会 第1回相双・いわき地区連絡会（原町区福祉会館） 8月 25日　　市町村社協連協会長会・事務局長会(全体会)及び社会福祉トップセミナー（ビッグパレットふくしま） 11月 19日　　福島県社会福祉協議会理事会（ホテルサンキョウ福島） 11月 19日　　福島県社会福祉協議会役員交流会（精華苑） 令和　8年　1月 14日　　市町村社協連協事務局長会 第2回相双・いわき地区連絡会（原町区福祉会館） 2月　4日　　市町村社協連協事務局長会　会長・副会長会議（第2回）（オンライン開催） 2月 13日　　市町村社協連協事務局長会　会長・事務局長会（全体会）（第2回）（書面審議） 3月　6日　　福島県社会福祉協議会理事会（県社会福祉センター）	

基本計画３－３　産業、教育など保健福祉以外の様々な分野との協働

実施項目／実施内容	備考
○　**住民支え合い事業**	再掲 P.4
○　**住民支え合い活動づくり事業　※市受託事業**	再掲 P.2 ～3
○　**つどいの場創出支援事業　※市受託事業**	再掲 P.5
○　**各種事業の実施（青少年地域交流・福祉風土づくり等）**	
○　**いわき市総合社会福祉大会の開催**	再掲 P.48

○　各種大会への参加	再掲 P.48
○　ボランティア活動センター運営事業	再掲 P.53 ～54

組織および組織運営

1　組織体制

実施項目／実施内容	備考
○　理事会・評議員会 令和７年　４月　１日　第１回理事会 〔議事〕 １　常務理事の選定について ６月 11 日　第２回理事会 〔報告〕 １　職務執行状況報告について 〔議事〕 １　非常勤ヘルパー服務規程の改正について ２　いわき市社会福祉協議会だより第 155 号～第 158 号印刷業務の契約について ３　令和６年度事業報告について ４　令和６年度決算の承認について （　監　査　報　告　） ５　理事・監事候補者の選任について ６　評議員選任候補者の推薦について ７　評議員選任・解任委員会委員の選任について ８　定時評議員会の開催について ９　評議員選任・解任委員会の開催について ６月 26 日　第１回評議員会 〔議事〕 １　令和６年度事業報告について ２　令和６年度決算の承認について （　監　査　報　告　） ３　理事の選任について ４　監事の選任について ６月 26 日　第３回理事会	

〔議事〕

1　会長、副会長及び常務理事の選定について

2　顧問の委嘱について

3　いわき市社会福祉センター外部改修工事指名競争入札指名業者の選定について

4　評議員選任候補者の推薦について

9月29日　第4回理事会

〔報告〕

1　職務執行状況報告について

2　第5次地域福祉活動計画の策定について

3　財政調整積立金の運用について

〔議事〕

1　育児・介護休業等に関する規則の改正について

2　いわき市社会福祉センター外部改修工事請負契約について

3　令和7年度資金収支補正予算について

4　評議員会の開催について

10月　7日　第2回評議員会

〔報告〕

1　第5次地域福祉活動計画の策定について

2　財政調整積立金の運用について

〔議事〕

1　いわき市社会福祉センター外部改修工事請負契約について

2　令和7年度資金収支補正予算について

12月　15日　第5回理事会

〔報告〕

1　職務執行状況報告について

2　令和8年度職員採用候補者試験（大学卒業程度）の結果について

令和8年　3月18日　第6回理事会

〔報告〕

1　職務執行状況報告について

2　令和7年度社会福祉法人及び社会福祉施設指導監査の結果について

3　いわき市社会福祉センター外部改修工事請負変更契約について

4　令和8年度職員採用候補者試験の結果について

〔議事〕

1　定款の変更について
2　役員等費用弁償規程の制定について
3　職員就業規則の改正について
4　育児・介護休業等に関する規則の改正について
5　職員給与規程の改正について
6　再雇用職員給与規程の改正について
7　嘱託職員給与規程の改正について
8　介護職員等処遇改善手当支給規程の改正について
9　旅費規程の制定について
10　財政調整積立金の取り崩しについて
11　令和７年度資金収支補正予算について
12　役員等賠償責任保険契約について
13　令和８年度事業計画について
14　令和８年度資金収支当初予算について
15　評議員会の開催について

３月 26 日　第３回評議員会

〔報告〕

1　令和７年度社会福祉法人及び社会福祉施設指導監査の結果について
2　令和８年度職員採用候補者試験の結果について
3　役員等賠償責任保険契約について

〔議事〕

1　定款の変更について
2　令和和７年度資金収支補正予算について
3　令和８年度事業計画について
4　令和８年度資金収支当初予算について

○　監査の実施

令和　７年　６月　３日　　市社協監査
監事による監査を受け、適正処理であることの承認を得る

○　各種専門委員会の実施

【評議員選任・解任委員会】

令和　７年　６月 26 日　　評議員の選任について

【広報委員会】

令和　７年　６月 16 日　　いわき市社協だより第 155 号掲載内容・承認について
８月 21 日　　いわき市社協だより第 156 号掲載内容・承認について

12月 15日　いわき市社協だより第157号掲載内容・承認について いわき市社協だより発行計画及び作業計画について 令和　8年　3月18日　いわき市社協だより第158号掲載内容・承認について 【衛生委員会】 令和　7年4月から令和8年3月まで（毎月開催）	
○　**地区幹事会・福祉推進会の実施** 地区住民の福祉向上に寄与するため、地区の保健・医療・福祉・教育及び関連団体の代表者等で構成される幹事会及び福祉推進会を各地区において開催し、地域に密着した福祉活動の円滑な推進を図った。	
○　**福祉推進委員等役員研修の実施** 地区協議会の福祉推進委員等を対象に各種研修を行い、地域福祉活動に対する一層の理解と協力を促進した。 ○平地区協議会 開催日：令和8年3月19日 場　所：いわき市社会福祉センター 内　容：外国人留学生の現状と課題について～理解と共生～ 参加者：26名 ○小名浜地区協議会 開催日：令和8年3月10日 場　所：小名浜公民館 内　容：明日飛こども自立の里について 参加者：28名 ○常磐地区協議会 開催日：令和7年11月14日 場　所：磐城高箸、好間キッズクラブ 内　容：視察研修 参加者：20名 ○内郷地区協議会 開催日：令和7年10月31日 場　所：日立市役所 内　容：視察研修 参加者：23名	

○四倉地区協議会
開催日：令和８年３月 12 日
場　所：いわき海浜自然の家、いわき市消防本部指令課、専称寺
内　容：視察研修
講話「相手のはなしに耳を傾けて心を寄せて聴くコミュニケーション技法を学ぶ」
参加者：21 名

○遠野地区協議会
開催日：令和７年 10 月 17 日
場　所：アイデミきたかた（喜多方市）、アイネット（会津若松市）
内　容：社協・民協合同視察研修
参加者：17 名

○好間地区協議会
開催日：令和７年 10 月 20 日
場　所：おぢや震災ミュージアムそなえ館（新潟県小千谷市）
内　容：社協・民協合同視察研修
参加者：18 名

○田人地区協議会
開催日：令和７年 10 月 15 日から 10 月 16 日まで
場　所：栃木県宇都宮市防災センター、防災大学校北校
内　容：社協・民協合同視察研修
参加者：18 名

○久之浜・大久地区協議会
開催日：令和８年２月６日
場　所：社会福祉法人　みどりの杜福祉会いわきワイナリー
内　容：視察研修
参加者：16 名

2　財源および財務運営

実施項目／実施内容	備考

○　**会員会費の推進**

1　正会員及び特別会員会費の推進

全戸加入を目標として行政嘱託員の協力をいただきながらチラシの全戸配布や会費の納入のとりまとめを行うなど会員の確保に努めた。

・　正会員世帯数　73,049 世帯
・　納入額　　37,466,940 円

＜推進期間＞

	推進地区
7月	平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前久之浜・大久

＜会費納入額＞

	納入額
1　正会員会費	35,918,940 円
2　特別会員会費	1,548,000 円
合　計	37,466,940 円

関係資料P.96～97

＜令和５年度から令和７年度までの会費納入額の推移＞

	R５	R６	R７	前年度増減	対前年度比
1正会員会費	38,378,810 円	37,382,800 円	35,918,940 円	△1,463,860円	96.1%
2特別会員会費	1,531,000 円	1,534,000 円	1,548,000 円	14,000 円	100.9%
合　計	39,909,810 円	38,916,800 円	37,466,940 円	△1,449,860円	96.3%

2　企業会員及び団体（法人施設）会員会費の推進

依頼文書及び訪問により、会費の納入と新規加入促進を図った。

(1)　**企業会員会費推進状況**

・　企業会員数　710 企業
・　納入額　　8,210,000 円

＜令和５年度から令和７年度までの企業会員会費納入額の推移＞

	R５	R６	R７	前年度増減	対前年度比
企業会員会費	8,513,477 円	8,180,477 円	8,210,000 円	29,523 円	100.4%

(2) 団体（法人施設）会員会費推進状況

加入数	納入額
69 団体	690,000 円

＜令和５年度から令和７年度までの法人会員会費納入額の推移＞

	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	前年度増減	対前年比
法人会員会費	660,000 円	690,000 円	690,000 円	0 円	100%

成果

前年度と比較すると、正会員会費が 3.9%の減額となったが、特別会員会費が 0.9%、企業会員会費が 0.4%の増額となった。令和７年度は特別会員、企業会員加入数が微増となった一方で、正会員の退会が出始めている状況が見受けられた。

本会の事業を展開していくうえで会員会費は必要不可欠な財源であることから、社協の事業に対する理解を得ながら、今後も継続した会費の納入と新規の加入促進に努めていく必要があり、訪問等による推進の再開も視野に入れ検討する。

○ **共同募金運動の推進**

再掲 P.56～57

○ **ボランティア基金の運営**

再掲 P.55～56

○ **補助・受託事業の実施**

＜令和８年度の事業＞

- 生活困窮者自立相談支援事業（市）
- つどいの場創出支援事業（市）
- 地域子育て支援拠点事業（市）
- 住民支え合い活動づくり事業（市）
- 産前・産後ヘルパー派遣事業(市)
- 子育て世帯ヘルパー派遣事業事業（市）
- 身体障がい者訪問入浴事業（市・楢葉町）
- 要介護認定調査（市・関係市区町村）
- 介護予防支援業務（市・関係市町村）
- 生活福祉資金貸付事業（県社協）
- 日常生活自立支援事業（県社協）
- 福祉人材センター協力指定事業（県社協）
- 生活支援相談員等配置事業（県社協）
- 指定介護予防支援事業（NPO）

○ **いわき市社会福祉センターの設置運営** 会議室、３階・４階の貸室等により、事業収入財源の確保に努めた。	関係資料P.91

3　職員体制および職員研修

実施項目／実施内容	備考
○ **計画的な職員の採用** 健全な財政に基づく組織運営と事務事業を遂行するため、適正な職員定数のもとに、計画的な職員の採用に努めた 令和７年度は、正規職員の欠員補充に伴い、「令和８年度職員採用候補者試験」を実施した。 １　採用人数　　２名（一般事務職）、３名（社会福祉士資格取得者） ※応募者数：一般事務職 14 名、社会福祉士７名	
○ **職員の資格取得の奨励** 地域福祉を推進し、かつ住民福祉活動を支援していくうえで、職員にはより高い専門性が求められる時代になったことから、社会福祉士や社会福祉主事、介護福祉士、介護支援専門員など、職員の資格取得と専門性の向上に努めた。	
○ **職場内研修の実施** 事務事業の実践能力の向上、専門性の向上、組織人としての成長が、市民サービスと組織の活性化に直結することから、職務を通じた研修やテーマごとの研修会を開催するなど、計画性と継続性をもって職員の資質向上に努めた。 ＜地域福祉事業関係＞ 令和　７年　４月 28 日　新採用職員研修 ４月 28 日　職員研修（演習「文書実務」） ６月 18 日　第１回担当者会議 ７月 22 日　第２回担当者会議 ７月 28 日　第１回職員研修 ８月 20 日　第３回担当者会議 ８月 28 日　第１回つどいの場担当者会議 ９月１日　第１回生活支援コーディネーター会議 ９月 17 日　第４回担当者会議 10 月 22 日　第５回担当者会議 11 月 19 日　第６回担当者会議 12 月 17 日　第２回生活支援コーディネーター会議	

12月25日	第7回担当者会議	
令和　8年　1月 21日	第8回担当者会議	
2月 18日	第9担当者会議	
3月 25日	第10回担当者会議	
＜ホームヘルプセンター関係＞		
（毎週開催）	居宅支援事業所定例会	
（毎月開催）	訪問介護事業所定例会 ／ 訪問入浴事業所定例会	
○　職場外研修の実施		
全国・福島県社会福祉協議会、さらにはさまざまな団体等が実施する研修会や講習会等へ職員を積極的に派遣した。		
＜地域福祉活動事業関係＞		
令和7年　5月中旬	令和7年度生活支援体制整備事業研修 基礎編	
3月 31 日	（動画視聴）	
4月 30日	保健福祉行政新任者研修（市総合保健福祉センター）	
5月 8日	ケースワーカー研修1日目【1年目前期研修】（市総合保健福祉センター）	
5月 9日	ケースワーカー研修2日目【1年目前期研修】（市総合保健福祉センター）	
5月 19日	ケースワーカー研修1日目【2年目研修】（市総合保健福祉センター）	
5月 20日	ケースワーカー研修2日目【2年目研修】（市総合保健福祉センター）	
6月 25日	第1回地域デザイン力向上研修	
7月 9日	第2回地域デザイン向上研修	
7月 14日	令和7年度生活支援体制整備事業研修 実践編	
7月 17日～18日	市町村社会福祉協議会職員研修【新任職員編】（県総合社会福祉センター）	
7月 18日	生活支援コーディネーター実践研修「地域のお宝発表会」（オンライン）	
7月 23日	ZERO層協議体から始める生活支援体制整備事業のすすめ～（オンライン）	
8月 25日	令和7年度接遇・マナー研修（オンライン）	
8月 25日	令和7年度社会福祉トップセミナー及び地域福祉セミナー（ビックパレットふくしま）	
10月 16日	令和7年度市町村社会福祉協議会職員研修チームリーダー編（県総合社会福祉センター）	
10月 21日	令和7年度コミュニティソーシャルワーク研修（前期課程）	
11月 10日	ケースワーカー研修1日目【1年目後期研修】	

（市総合保健福祉センター）
11月11日　ケースワーカー研修２日目【１年目後期研修】
（市総合保健福祉センター）
11月14日　令和７年度会計・経理担当者研修会（ほっとあたみ）
11月25日　令和７年度コミュニティソーシャルワーク研修（後期課程）

＜日常生活自立支援事業関係＞
令和　７年　４月25日　あんしんサポート第１回制度運用検討会
５月20日　第１回あんしんサポート事業契約締結審査会
６月24日　あんしんサポート業務説明会（新任担当者研修）
６月27日　あんしんサポート第２回制度運用検討会
７月　８日　第２回あんしんサポート事業契約締結審査会
９月　９日　あんしんサポート事業利用料改定のかかる事務手続き説明会
10月　７日　アディクションフォーラム（福島市音楽堂）
11月13日　あんしんサポート生活支援員実働者研修会
12月10日　あんしんサポート学習会
12月19日　相談員等研修会（福島県男女共生センター）
令和　８年　１月13日　第５回あんしんサポート事業契約締結審査会
１月30日　あんしんサポート第３回制度運用検討会
２月14日　第６期市民後見人養成講座　基礎講座
２月20日　あんしんサポート事業事務手続き（ガイドライン改訂）
説明会議
３月10日　第６回あんしんサポート事業契約締結審査会

＜法人後見事業関係＞
令和　７年　８月20日　第１回法人後見運営委員会（いわき市社会福祉センター）

＜被災者支援事業関係＞
令和　７年　４月21日　関係機関とのいわき市内情報共有会議
（いわき市社会福祉センター）
４月23日　支援区分の見直しに関する説明会（オンライン）
４月25日　自治会支援説明と情報交換会（いわき中央台公民館）
５月19日　第１回生活相談員との情報共有会議
（いわき市社会福祉センター）
６月16日　いわき市内復興公営住宅情報共有会議情報共有会議
第１回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議
（いわき市社会福祉センター）
７月　７日　福島県における災害/復興公営住宅の生活再建の現状と課題
（いわき産業創造館 LATOV）
７月14日　第２回生活相談員との情報共有会議
（いわき市社会福祉センター）

7月25日	相双・いわき地区被災者見守り・相談支援調整会議 （富岡町文化交流センター） 支援対象者及び支援区分の見直しに関する説明会 （富岡学びの森）
8月 8日	第1回福島県被災者見守り・相談支援調整会議 （オンライン）
8月18日	第3回生活相談員との情報共有会議 （いわき市社会福祉センター）
8月29日	市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別研修会 （第1回）（ビックパレットふくしま）
9月 8日	第2回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議 （いわき市社会福祉センター） いわき市内復興公営住宅情報共有会議情報共有会議 （いわき市社会福祉センター）
10月 6日	市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別研修会 （第2回）（ビックパレットふくしま）
10月20日	第4回生活相談員との情報共有会議 （いわき市社会福祉センター）
10月21日	ふくしま心のケアセンター関係者連携フォーラム （大熊町交流施設Ｉ inkる大熊）
11月11日	市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別研修会 （第3回）（F-BICC双葉町産業交流センター）
11月13日	いわき地区、郡山地区担当避難者地域支援コーディネーター会議（いわき市内復興公営住宅　関船団地、北好間団地）
11月17日	第5回生活相談員との情報共有会議 （いわき市社会福祉センター）
12月15日	いわき市内復興公営住宅情報共有会議情報共有会議 （いわき市社会福祉センター）
1月19日	第6回生活相談員との情報共有会議 （いわき市社会福祉センター）
2月 6日	第2回ふくしま広域こころのケアねっと全体会議 （オンライン）
2月 9日	団地別避難元・避難先　民生委員・児童委員情報交換会 （四ツ倉公民館）
2月26日	第2回福島県被災者見守り・相談支援調整会議 （オンライン）
2月27日	団地別避難元・避難先　民生委員・児童委員情報交換会 （道の駅いわき・ら・ら・ミュウ）
3月16日	いわき市内復興公営住宅情報共有会議情報共有会議 （いわき市社会福祉センター） 第3回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議 （いわき市社会福祉センター）

＜生活福祉資金貸付事業関係＞

令和　7年	5月22日	社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォローアップ支援推進委員会（第1回）及び調査研究部会（第1回）（日本生命福島ビル）
	6月30日	生活福祉資金担当職員研修会（郡山商工会議所） 社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォローアップ支援推進委員会（第2回）（オンライン）
	7月 1日	フォローアップ支援推進研修（郡山商工会議所）
	11月13日	社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォローアップ支援推進委員会（第3回）（会津若松市文化センター）
	10月17日	社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォローアップ支援推進委員会調査研究部会（オンライン）
令和　8年	2月19日	社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォローアップ支援推進委員会（第4回）（郡山商工会議所）

＜福祉人材センター協力指定事業関係＞

令和　7年	5月14日	福祉人材センター協力指定事業担当者会議 （オンライン）
	7月 6日	第1回福祉の職場合同就職説明会～福祉のおしごとマルシェ （いわき産業創造館　LATOV）

＜生活困窮者自立相談支援事業関係＞

令和　7年	4月30日	「令和7年保健福祉行政新任者研修」 （いわき市総合保健福祉センター）
	5月8日 ～9日	「令和7年度ケースワーカー1年目研修」 （いわき市総合保健福祉センター）
	5月19日 ～20日	「令和7年度ケースワーカー2年目研修」 （いわき市総合保健福祉センター）
	7月17日 ～18日	「令和7年度市町村社会福祉協議会職員研修（新任職員編）」 （福島県総合社会福祉センター）
	7月30日 ～8月 1日	「令和7年度主任相談支援員初任者研修」 （ロフォス湘南）
	9月11日	「令和7度いわき市生活困窮者支援官民連携プラットフォーム連絡会議」 （いわき市総合保健福祉センター）
	9月14日	「令和7年度全国障がい者職親会サミット in いわき」 （学校法人昌平黌　東日本国際大学）
	10月6日	「令和7年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修

	～7日	相談支援員初任者研修」 (全国社会福祉協議会　難尾ホール)
	11月13日 ～14日	「令和7年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 就労支援員・就労準備支援事業初任者研修」 (ビジョンセンター東京虎ノ門ヒルズ)
	12月1日 ～2日	「令和7年度福島県生活困窮者自立支援事業従事者研修」 (ふくしま医療機器開発支援センター)
令和　8年	1月22日 ～23日	「令和7年度生活困窮者自立支援制度人材養成における 現任者向け研修」 (仙台国際センター)
	1月30日	「令和7年度ひきこもり支援従事者養成研修」 (いわき市産業創造館)
	2月5日	「令和7年度いわき市住宅セーフティネット連絡協議会 (居住支援協議会設立準備会)」 (いわき市文化センター)

＜ホームヘルプセンター関係＞

令和　7年	5月14日	1回平地区介護支援専門員交流会（中央台公民館）
	7月15日	第1回他法人の支援事業所との共同での事例検討会、研修会 （市社会福祉センター）
	7月　1日 ～9月18日	主任介護支援専門員更新研修 （オンライン）
	9月　1日 ～11月10日	介護支援専門員　専門研修Ⅱ （オンライン）
	11月　6日	現任認定調査員研修会（オンライン）
	11月12日	第4回平地区介護支援専門員交流会（市総合保健福祉ｾﾝﾀｰ）
	12月　9日	介護職員のためのアンガーマネジメント（文化センター）
令和　8年	2月18日	高齢期の食事について（中央台公民館）
	3月11日	第2回他法人の支援事業所との共同での事例検討会、研修会 （タローズカフェ）
	3月19日	介護のための手洗いについての教室（玉川公民館）

住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況

地区名	相談件数（計）	相談内容内訳（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）							実利用者数	サービス実施件数	関係機関等へ情報提供・相談	登録サポーター
		話し相手	ゴミ出し	片付け・重い物の移動	電球交換	買物代行	草引き	その他				
平	15 (20)	0 (2)	5 (3)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (8)	7 (5)	3 (2)	3 (11)	3 (0)	57 (54)
小名浜	4 (6)	0 (1)	0 (2)	0 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (0)	0 (1)	51 (1)	0 (4)	40 (50)
勿　来	14 (1)	1 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	5 (1)	1 (0)	2 (0)	2 (1)	56 (58)
常　磐	7 (8)	0 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (3)	4 (2)	4 (6)	4 (6)	2 (2)	12 (33)
内　郷	4 (11)	0 (0)	1 (2)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	1 (4)	2 (5)	2 (5)	1 (2)	42 (42)
四　倉	12 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	8 (3)	8 (3)	12 (3)	1 (1)	18 (14)
遠　野	1 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	1 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	7 (7)
小　川	4 (9)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (7)	4 (4)
好　間	1 (8)	0 (0)	0 (2)	1 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (5)	1 (1)	1 (8)	25 (24)
三　和	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	7 (9)	223 (9)	0 (0)	18 (18)
田　人	3 (2)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (4)
川　前	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)
久之浜・大久	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合　計	65 (76)	2 (5)	12 (12)	8 (10)	2 (3)	0 (1)	12 (23)	29 (22)	29 (35)	298 (38)	10 (25)	290 (315)

ア　（　）は、令和６年度実績
イ　久之浜・大久地区は第３層協議体を実施主体とするため除く

住民支え合い活動実施状況（第３層協議体）

地区名		登録サポーター		実利用者数		活動延べ件数（令和７年４月１日～令和８年３月３１日） 見守り・声掛け訪問		生活支援（買物代行・ゴミ出し等）		サロン・つどいの場		合　計		会議・定例会等	
平	城山地区	11	(9)	20	(21)	134	(133)	40	(14)	43	(15)	217	(162)	12	(22)
	鎌田地区	8	(66)	77	(84)	595	(844)	2	(0)	11	(12)	608	(856)	2	(15)
	六十枚区	12	(66)	12	(12)	178	(284)	20	(42)	16	(13)	214	(339)	12	(11)
	愛谷町	22	(22)	22	(22)	356	(92)	22	(0)	66	(14)	444	(106)	0	(5)
小名浜	玉川町西区	21	(21)	13	(21)	214	(226)	121	(109)	0	(0)	335	(335)	12	(11)
	永崎地区	17	(16)	9	(9)	214	(216)	0	(0)	0	(0)	214	(216)	12	(11)
	玉露１・２区	17	(29)	50	(47)	374	(553)	3	(2)	0	(1)	377	(556)	6	(7)
	岡小名第一東区	12	(9)	30	(10)	140	(130)	64	(10)	24	(21)	228	(161)	0	(1)
	上神白区	17	(18)	27	(28)	157	(260)	210	(32)	0	(0)	367	(292)	4	(3)
	玉川南１区	10	(10)	19	(0)	350	(0)	14	(0)	0	(0)	364	(0)	0	(0)
勿　来	南台１・２区	19	(19)	19	(4)	0	(0)	5	(1)	42	(43)	47	(44)	4	(1)
	関田地区	54	(56)	54	(1)	52	(43)	93	(31)	18	(0)	163	(74)	3	(4)
	九面地区	7	(0)	7	(0)	10	(0)	29	(0)	20	(8)	59	(8)	0	(4)
	金山西・南区	12	(10)	12	(78)	421	(381)	10	(0)	68	(0)	499	(381)	9	(8)
	酒井・1区・2区・3区	25	(16)	25	(27)	82	(54)	139	(0)	0	(0)	221	(54)	1	(5)
	小山下	21	(19)	21	(0)	106	(0)	326	(0)	0	(0)	432	(0)	2	(0)
	中田10区	20	(0)	20	(0)	205	(0)	4	(0)	15	(0)	224	(0)	1	(0)
常　磐	下船尾地区	23	(20)	22	(22)	244	(255)	0	(0)	9	(8)	253	(263)	11	(11)
	上川地区	17	(8)	8	(8)	384	(367)	0	(0)	39	(35)	423	(402)	47	(47)
	斑堂団地自治会	14	(19)	4	(4)	45	(52)	0	(6)	0	(0)	45	(58)	0	(2)
内　郷	高坂９区	11	(8)	15	(15)	89	(150)	5	(0)	0	(0)	94	(150)	6	(21)
	高野地区	14	(10)	16	(19)	154	(218)	5	(8)	23	(23)	182	(249)	9	(21)
	宮１区	10	(2)	11	(12)	84	(132)	0	(0)	10	(8)	94	(140)	8	(9)
	高坂７区	19	(14)	12	(15)	142	(171)	0	(0)	12	(11)	154	(182)	11	(19)
	宮12区	9	(8)	7	(7)	100	(102)	0	(1)	12	(11)	112	(114)	12	(22)
	宮２区	9	(9)	11	(0)	139	(0)	0	(0)	17	(0)	156	(0)	11	(0)
	宮６区	8	(0)	70	(0)	198	(0)	0	(0)	0	(0)	198	(0)	5	(0)
	御厩３区	7	(0)	30	(0)	202	(0)	8	(0)	0	(0)	210	(0)	6	(0)

地区名		登録サポーター		実利用者数		活動延べ件数（令和７年４月１日～令和８年３月３１日） 見守り・声掛け訪問		生活支援（買物代行・ゴミ出し等）		サロン・つどいの場		合　計		会議・定例会等	
四　倉	新町地区	9	(17)	32	(37)	21	(160)	128	(78)	51	(50)	200	(288)	2	(2)
	梅ヶ丘南地区	8	(8)	40	(41)	347	(381)	69	(53)	20	(21)	436	(455)	6	(5)
	５・９区	22	(7)	26	(17)	42	(168)	26	(4)	12	(12)	80	(184)	12	(12)
	狐塚区	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	3	(0)
遠　野	上根本地区	14	(9)	2	(3)	21	(14)	0	(2)	6	(0)	27	(16)	5	(4)
	入定地区	12	(8)	14	(16)	223	(181)	8	(20)	0	(0)	231	(201)	2	(5)
	下滝行政区	11	(14)	6	(6)	42	(22)	0	(0)	0	(0)	42	(22)	1	(1)
	関屋・落合地区	8	(7)	2	(2)	0	(24)	0	(2)	1	(0)	1	(26)	6	(5)
	深山田地区	6	(21)	0	(0)	5	(0)	0	(0)	0	(0)	5	(0)	1	(2)
	西根地区	9	(9)	0	(57)	49	(0)	0	(0)	0	(0)	49	(0)	0	(1)
	前田地区	2	(8)	9	(5)	27	(42)	0	(9)	0	(0)	27	(51)	4	(4)
	上遠野地区①	14	(15)	14	(14)	114	(128)	0	(77)	1	(0)	115	(205)	6	(7)
	上遠野地区②	9	(12)	6	(10)	53	(96)	0	(0)	1	(0)	54	(96)	2	(5)
	入上・中野天王地区	9	(10)	6	(7)	63	(60)	0	(0)	1	(0)	64	(60)	4	(3)
	根岸行政区	16	(8)	28	(14)	236	(42)	0	(0)	1	(0)	237	(42)	6	(2)
小　川	塩田地区	12	(16)	10	(12)	0	(54)	0	(29)	0	(46)	0	(129)	3	(1)
	山ノ入・淵沢地区	10	(7)	1	(1)	79	(0)	91	(5)	30	(0)	200	(5)	4	(2)
	江田・牛小川地区	6	(18)	18	(20)	0	(87)	5	(3)	0	(23)	5	(113)	3	(4)
	高萩地区	8	(16)	1	(1)	77	(0)	8	(32)	22	(0)	107	(32)	2	(5)
	上平区	12	(0)	3	(0)	0	(0)	15	(0)	0	(0)	15	(0)	7	(0)
好　間	田代・沼平地区	8	(10)	9	(21)	201	(247)	4	(9)	23	(24)	228	(280)	20	(11)
	北二区	0	(7)	17	(20)	344	(342)	124	(128)	12	(16)	480	(486)	11	(12)
	椎木平地区	9	(8)	18	(8)	60	(79)	0	(33)	12	(9)	72	(121)	11	(9)
	中好間１・２区	8	(12)	21	(21)	371	(451)	0	(1)	40	(44)	411	(496)	10	(11)
	大畑２協和会	7	(0)	0	(0)	36	(0)	0	(0)	0	(0)	36	(0)	7	(0)
三　和	**渡戸行政区**	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)
田　人	入旅人大字区	15	(21)	23	(5)	102	(90)	59	(8)	67	(8)	228	(106)	2	(3)
	貝泊地区	11	(16)	17	(16)	463	(362)	288	(136)	147	(0)	898	(498)	3	(6)
	荷路夫地区	8	(14)	14	(16)	339	(219)	293	(146)	146	(0)	778	(365)	3	(5)
	出旅人区	16	(0)	11	(0)	150	(0)	159	(0)	0	(0)	309	(0)	2	(0)
川　前	山下谷地区	21	(10)	7	(9)	0	(66)	25	(8)	11	(49)	36	(123)	2	(8)
	沢尻地区	18	(10)	6	(7)	0	(131)	65	(17)	27	(28)	92	(176)	1	(6)
	西町１区	17	(19)	18	(1)	0	(58)	0	(472)	0	(7)	0	(537)	7	(7)

地区名		登録サポーター		実利用者数		活動延べ件数（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）						合　計		会議・定例会等	
						見守り・声掛け訪問		生活支援（買物代行・ゴミ出し等）		サロン・つどいの場					
久之浜・大久	中町区	7	(11)	13	(13)	232	(70)	240	(165)	12	(12)	484	(247)	12	(12)
	東町区	10	(8)	0	(3)	84	(23)	146	(0)	12	(0)	242	(23)	0	(0)
合　計	63 地区	798	(840)	1,035	(869)	9,150	(8,260)	2,873	(1,693)	1,100	(572)	13,123	(10,525)	377	(420)

ア　（　）は、令和６年度実績
イ　太字の地区は令和７年度新規地区

令和7年度いわき市ボランティア活動助成状況

No.	団体名／活動概要	申請事業名	助成額(円)
1	**いわき市ボランティア連絡協議会** 市内のボランティア（個人・団体）の相互連携とボランティア活動の伸展に努めることを目的に、ボランティア活動に関する調査研究・連絡調整・情報収集・広報・研修などの啓発活動を行っている。	1．ボランティア団体交流会　2.いわき市内ボランティアフェスティバル　3.広報誌発行	306,000円
2	**勿来地区ボランティア連絡会** 勿来地区においてボランティア同士の横の連携を図り、活動の輪を広げていくために必要な情報提供や啓蒙・交流とボランティアの育成などを行っている。	1．広報活動に必要な広報誌発行事業　2.山田ふれあい農業体験事業	192,000円
3	**山田ふれあい福祉の会** 山田地域に生活する人達が、地域の福祉の問題について共に考え助け合いの輪を広げ、高齢者も安心して暮らせる地域つくりの推進を目的にひとり暮らし高齢者への見守り訪問や公民館まつりへの参画等の滑動を行っている。	ボランティア活動時に着用するエプロン購入	148,000円
4	**福祉レクリエーションネットワークinふくしま・いわき** 福祉領域に係る施設・団体等へのレクリエーション支援活動を目的とし、定例会や研修会を開催し、会員の資質向上と地域の福祉活動に参加協力している。	レクリエーション活動及び資料作成のためのパソコン、タブレット整備事業	200,000円
5	**いわき傾聴ボランティア「みみ」** 傾聴活動を通して地域の人々とよりよい関係を築くとともに、そこに住む人たちが自立して生活していくことができるように支援することで、地域福祉の向上に寄与していくことを目的に活動している。	傾聴ボランティア養成講座	133,330円
6	**地域コミュニティ匠の会** 中央台飯野地区を中心に地域の人材を活用し相互扶助として、高齢者、弱者世帯を対象に労務奉仕、よろず相談や日常生活を支援し安心して住める地域コミュニティの創出を目的に芝刈り、除草、生垣、樹木剪定、住宅内外の軽易な補修などの活動を行っている。	庭園等剪定作業に要する器材の整備	200,000円
7	**永崎女性の会** 東日本大震災と原発事故で甚大な被害を受け、平成26年4月笑顔を取り戻したくソフト面で地元の貢献するため会を発足した。県復興公営住宅「下神白団地」と市災害公営住宅「永崎団地」の方々、江名中学校・小名浜海星高校・地元住民との交流会を実施している。	地元の高校、中学校、県営復興下神白団地、市営永崎団地と地元住民によるソフト面（心のケア）での復興につながる交流事業	200,000円
8	**ひまわり日本語教室** 外国にルーツがある子どもたち（以下、「在日外国人等」という。）のアイデンティティを尊重しつつ、彼ら自身が自己実現するために、日常生活や教科学習に必要な日本語の習得を支援し地域社会につながる場所を提供する。また、会員と在日外国人等が相互に学び合い親睦を図り、多文化共生社会の実現に寄与することを目的としている。	外国にルーツがある子どもの日本語支援活動費（事務消耗品費、教材等購入費、課外体験学習等日本語学習支援に係る活動費）	210,000円
9	**ガールスカウト福島県第28団** 小学生から高校生までの少女たちを対象に、自然体験、地域活動、防災学習などを通して「自ら考え、行動する力」を育むことを目的に活動している。	防災アイディアブックを活用した広報活動	41,000円
10	**シャイネン** 歌、楽器演奏を通して、活気、賑わい、笑顔が多くなる様な地域となるような活動を進める。また、高齢者施設、障がい者施設などで演奏を続ける。	音楽ボランティアに必要な音響機器（マイク・スピーカー）	124,000円
11	**いつだれボランティア会** 食べきれない、使い切れない食材や調味料等の寄付を受け、それを調理し提供することで、いつでもだれもが気楽に集える場所を作るため食堂を運営する。スタッフはすべて無償のボランティアで、食事代金については投げ銭としている。	オレンジカフェ及びコミュニティ食堂運営充実のための備品及び消耗品の購入	200,000円
12	**子育てポピークラブ** 子育て不安の解消事業の一環として子育て中の家族と子供たちが集まり元気に子育てできる地域環境づくりを推進する。親子同士の交流を促し親育ちの為の講座を複数回行うことで孤立しがちな子育て世代の不安を解消する。	子育て支援の為の教材及び資料代・教材代	59,000円
13	**読み聞かせ未来キャラバン** 子どもと保護者が健やかに育ち、安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、多様な学びや体験の機会を提供するとともに、地域の人々や各種専門家との交流を通じて、相互に支え合う社会環境づくりを推進することを目的に活動。	読み聞かせ活動に必要な絵本の購入及び体験活動に必要な機材の整備、活動周知のためのリーフレット作成	169,000円
14	**特定非営利活動法人いわき市障がい者親睦会** 公共職業安定所、福島県いわき地方振興局、いわき市等、行政機関と連携を図り、いわき市内における障がい者の雇用問題に積極的に取り組み、雇用の促進と安定を図り、福祉の増進に寄与し、障がい者の自立を目指して活動。	設立30周年記念誌の発行	200,000円

令和7年度いわき市ボランティア活動助成状況

No.	団体名／活動概要	申請事業名	助成額(円)
15	**特定非営利活動法人はなのころ** 主に障がいのある方に対してそれぞれの「好きな事」「得意な事」を活かして社会につなげ、夢に向けて挑戦できる機会を創出し、福祉の持続可能な増進に寄与することを目的に活動。	障がい者のアート作品を展示した交流ギャラリースペースの発信	74,000円
16	**いわき市社会福祉協議会(ボランティア活動センター)** 地域住民や民間団体の自主的・継続的なボランティア活動の推進を図ることを目的に事業を行っている。また、日本各地で発生する大規模災害への支援活動に取り組み、平常時においても「災害につよいまちづくり」を目指して、常設型の災害ボランティアセンターを運営します。	ボランティア活動保険助成事業及び災害ボランティアセンターの常設運営事業	871,000円
17	**おはなし会「わっ！」** 本を通して会員相互に学び合うとともに、公民会祭の企画運営や地域行事、地域の子供たちの育成などに協力しながら社会参加することを目的に活動。	おはなし会に使用する教材の整備	200,000円
18	**子育てサポーターつどい★てんしのほほえみ★** 乳幼児と保護者を対象とした子育て支援を行っている。絵本やパネルシアターなどを使用した「おはなしあそび」と手あそびやわらべうたの「ふれあいあそび」と季節の行事あそびの他、「うたあそび」や「ミニコンサート」などを行っています。	活動に必要な資機材の整備	179,885円
19	**小名浜女性の会** 会員相互の親睦を図るとともに、地域社会の進展に寄与することを目的に活動。	総会や会報などの資料作成に必要なパソコンとプリンターの整備	120,000円
	助成配分総額		3,827,215円

令和7年度　社会福祉センター利用状況

令和8年3月31日現在

区分	令和7年度実績　(a)			令和6年度実績　(b)			比較増減　(a)－(b)		
月別	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)
4月	10	209	23,050	9	174	14,200	1	35	8,850
5月	21	327	7,350	14	274	20,100	7	53	△ 12,750
6月	22	430	19,950	15	283	16,800	7	147	3,150
7月	31	544	193,500	20	184	135,200	11	360	58,300
8月	6	147	45,600	8	128	7,950	△ 2	19	37,650
9月	20	391	71,250	15	263	15,000	5	128	56,250
10月	13	319	8,000	14	276	21,000	△ 1	43	△ 13,000
11月	14	257	1,800	9	304	38,600	5	△ 47	△ 36,800
12月	12	245	4,800	12	187	9,000	0	58	△ 4,200
1月	6	714	38,000	7	135	6,000	△ 1	579	32,000
2月	19	445	0	10	186	13,800	9	259	△ 13,800
3月	9	149	83,550	15	298	17,000	△ 6	△ 149	66,550
計	183	4,177	496,850	148	2,692	314,650	35	1,485	182,200

令和7年度　福祉総合相談実績

相談所名	開設日数	相談者数	性別	
			男	女
福祉総合相談	242	3160	1896	1264

	1 生計	2 貸付	3 年金	4 職業・生業	5 住宅	6 家族	7 結婚	8 離婚	9 健康・保健衛生	10 医療	11 人権・法律	12 財産	13 事故	14 児童福祉・子育て	15 教育・青少年	16 障がい者（児）福祉	17 母子・父子福祉	18 老人福祉	19 住民支え合い	20 ボランティア	21 苦情	22 その他	合計
解決	37	2641	1	3	18	19	0	3	8	6	10	4	0	3	2	9	0	28	58	76	9	40	2975
継続	6	28	0	6	0	0	0	0	11	0	0	1	0	0	0	2	0	2	11	1	0	6	74
紹介	23	15	0	2	4	9	0	2	3	1	9	3	2	1	0	5	0	16	6	2	1	7	111
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	66	2684	1	11	22	28	0	5	22	7	19	8	2	4	2	16	0	46	75	79	10	53	3160

令和7年度　無料法律相談実績

相談所名	開設日数	相談者数	性別	
			男	女
無料法律相談	12	71	26	45

	1 生計	2 貸付	3 年金	4 職業・生業	5 住宅	6 家族	7 結婚	8 離婚	9 健康・保健衛生	10 医療	11 人権・法律	12 財産	13 事故	14 児童福祉・子育て	15 教育・青少年	16 障がい者（児）福祉	17 母子・父子福祉	18 老人福祉	19 住民支え合い	20 ボランティア	21 苦情	22 その他	合計
解決	3	8	1	7	8	10	0	9	0	0	1	15	3	0	0	0	0	2	0	0	1	3	71
継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	8	1	7	8	10	0	9	0	0	1	15	3	0	0	0	0	2	0	0	1	3	71

令和7年度　生活福祉資金地区別取扱い状況一覧

取扱地区	貸付決定資金種類(件数・金額)												貸付決定総額(円)	
	総合支援資金		福祉資金		福祉資金(緊急小口資金)		教育支援資金		不動産担保型生活資金(要保護者向けを含む)		臨時特例つなぎ資金			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平			4	756,000	11	807,000	2	2,324,000			1	50,000	18	3,937,000
小名浜			4	529,000	7	570,000							11	1,099,000
勿　来			4	370,000	14	834,000							18	1,204,000
常　磐			4	494,000	3	220,000	2	1,444,000					9	2,158,000
内　郷			2	276,000	1	50,000							3	326,000
四　倉			1	17,000	1	40,000							2	57,000
遠　野							1	480,000					1	480,000
小　川			1	68,000	1	100,000							2	168,000
好　間			1	199,000	1	20,000							2	219,000
三　和													0	0
田　人					1	35,000							1	35,000
川　前													0	0
久之浜大久					1	100,000							1	100,000
合　計	0	0	21	2,709,000	41	2,776,000	5	4,248,000	0	0	1	50,000	68	9,783,000

令和7年度ホームヘルプセンター事業実施状況

《介護保険事業》

(業務状況)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
【居宅支援】													
(1)利用者数	97	100	100	97	99	100	100	107	112	117	116	125	1,270
①要介護度1	14	16	17	15	15	16	18	20	22	26	24	28	231
②要介護度2	24	24	24	24	24	25	25	27	30	31	31	34	323
③要介護度3	17	14	14	14	15	15	15	18	18	17	17	16	190
④要介護度4	6	8	7	7	8	9	7	9	7	7	7	6	88
⑤要介護度5	7	7	7	5	5	4	3	2	3	4	4	4	55
⑥暫定													0
⑦要支援 1	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	131
⑧要支援 2	19	20	20	21	21	20	21	20	21	21	22	26	252
⑨予防暫定													0
【訪問介護】													
(1)利用者数	27	25	25	24	24	22	23	26	24	25	25	29	299
暫定													
(2)予防	21	21	20	21	21	21	21	21	21	22	21	22	253
予防暫定													0
(3)実施回数	281	293	258	280	234	259	277	252	246	237	231	264	3,112
①生活援助	111	122	109	111	95	102	107	95	84	79	84	97	1,196
②身体生活	26	26	25	25	23	25	25	24	24	24	25	25	297
③身体介護	33	31	20	30	21	21	32	34	36	34	25	34	351
(予防)	111	114	104	114	95	111	113	99	102	100	97	108	1,268
【障がい福祉】													
(1)利用者数(介護)	6	66	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	132
(2)実施回数	33	33	31	34	28	31	34	28	31	32	28	25	368
【訪問入浴】													
(1)利用者	28	26	26	24	22	21	25	21	26	25	27	28	299
暫定													
(2)予防													0
予防暫定													
(3)実施回数	112	110	101	104	81	92	100	84	98	92	98	111	1,183
①入浴	112	109	101	103	80	91	99	82	96	91	97	107	1,168
②清拭	0	1	0	1	1	1	1	2	2	1	1	4	15
③予防入浴													0
④予防清拭													0

《委託事業》

(業務状況)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
【訪問調査】													
(1)調査件数(市内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)調査件数(市外)	4	2	1	3	2	2	3	0	2	3	0	2	24
【身体障がい入浴】													
(1)利用者	7	8	8	9	8	7	8	9	8	9	9	7	97
(2)実施回数	28	36	37	34	38	28	32	45	38	43	38	32	429
①入浴	28	36	37	34	38	28	32	45	38	43	38	32	429
②清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日	*21.000*	*20.000*	*21.000*	*22.000*	*20.000*	*20.000*	*22.000*	*18.000*	*20.000*	*19.000*	*18.000*	*21.000*	242
入浴全体の稼働率	*2.222*	*2.433*	*2.190*	*3.136*	*2.975*	*3.000*	*3.000*	*3.583*	*3.400*	*3.553*	*3.778*	*3.405*	*2.961*

居宅 CM 専任 3人　兼務(臨時職員)1人(いわき市届出 常勤換算3.5人)
訪問入浴 2班
訪問介護 非ヘルパー9人・責任者3人

(1)は①～⑨の合計

令和7年度　正会員会費／特別会員会費地区別推進状況

令和8年3月31日現在
(単位:円)

地区名	正会員会費(A)	特別会員会費(B)	合計(C)=(A)+(B)	令和6年度実績(D)	比較増減(E)=(C)-(D)	前年度対比率(C)/(D)*100
平	9,426,500	366,000	9,792,500	10,229,800	△ 437,300	95.7%
小名浜	8,105,020	294,000	8,399,020	8,813,000	△ 413,980	95.3%
勿来	5,337,280	216,000	5,553,280	5,734,370	△ 181,090	96.8%
常磐	3,778,000	28,000	3,806,000	4,018,350	△ 212,350	94.7%
内郷	2,835,940	96,000	2,931,940	2,992,680	△ 60,740	98.0%
四倉	2,022,000	78,000	2,100,000	2,105,000	△ 5,000	99.8%
遠野	684,500	48,000	732,500	743,000	△ 10,500	98.6%
小川	982,500	28,000	1,010,500	1,042,000	△ 31,500	97.0%
好間	1,353,200	78,000	1,431,200	1,484,600	△ 53,400	96.4%
三和	426,500	46,000	472,500	483,500	△ 11,000	97.7%
田人	226,500	48,000	274,500	277,000	△ 2,500	99.1%
川前	169,000	42,000	211,000	216,500	△ 5,500	97.5%
久之浜・大久	572,000	54,000	626,000	643,000	△ 17,000	97.4%
市社協取扱分	0	126,000	126,000	134,000	△ 8,000	94.0%
計	35,918,940	1,548,000	37,466,940	38,916,800	△ 1,449,860	96.3%

企業会員会費推進状況（令和5年度～令和7年度）

令和8年3月31日現在

(単位:円)

地区名	令和5年度		令和6年度				令和7年度				備　考
					前年度対比				前年度対比		
	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	
平	146	1,965,000	135	1,625,000	△ 11	△ 340,000	128	1,600,000	△ 7	△ 25,000	
小名浜	144	1,545,000	137	1,480,000	△ 7	△ 65,000	129	1,430,000	△ 8	△ 50,000	
勿来	110	1,325,477	106	1,300,000	△ 4	△ 25,477	105	1,295,000	△ 1	△ 5,000	
常磐	71	860,000	71	870,000	0	10,000	65	810,000	△ 6	△ 60,000	
内郷	49	620,000	51	665,000	2	45,000	50	645,000	△ 1	△ 20,000	
四倉	47	493,000	43	480,000	△ 4	△ 13,000	55	585,000	12	105,000	
遠野	36	360,000	35	350,000	△ 1	△ 10,000	36	360,000	1	10,000	
小川	17	170,000	19	190,000	2	20,000	25	250,000	6	60,000	
好間	46	475,000	50	510,477	4	35,477	47	480,000	△ 3	△ 30,477	
三和	17	200,000	15	170,000	△ 2	△ 30,000	16	170,000	1	0	
田人	19	190,000	22	220,000	3	30,000	22	220,000	0	0	
川前	9	110,000	8	100,000	△ 1	△ 10,000	8	100,000	0	0	
久之浜・大久	17	200,000	19	220,000	2	20,000	24	265,000	5	45,000	
計	728	8,513,477	711	8,180,477	△ 17	△ 333,000	710	8,210,000	△ 1	29,523	

令和7年度いわき市共同募金委員会「共同募金」実績

令和8年3月19日現在(単位:円)

	平	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久之浜・大久	本部	計
戸別募金	19,297	15,786	11,007	7,623	5,774	3,872	1,361	1,961	2,784	830	451	354	1,101	0	72,201 戸
	9,651,500	7,943,100	5,361,680	3,810,800	2,764,850	1,928,800	680,500	976,900	1,378,485	414,600	225,500	177,000	550,500	0	35,864,215
街頭募金	5	5	7	4	2	1	0	0	2	0	0	0	0	1	27 件
	62,716	43,373	139,250	105,201	21,731	32,245	0	0	41,914	0	0	0	0	16,462	462,892
法人募金	1	9	3	5	1	5	4	18	13	0	0	0	2	467	528 件
	10,000	63,000	41,350	40,000	10,000	50,000	20,000	160,000	135,000	0	0	0	15,000	3,186,229	3,730,579
学校募金	29	18	13	11	12	6	2	3	6	2	1	0	2	0	105 校
	634,345	290,506	192,846	184,725	153,727	59,074	20,788	23,507	56,675	16,993	10,441	0	11,956	0	1,655,583
職域募金	131	34	68	161	27	14	5	8	6	48	7	4	4	4	521 件
	517,353	109,550	107,895	37,300	179,214	25,400	8,800	14,282	8,154	16,600	7,594	6,200	5,100	161,100	1,204,542
イベント募金	0	0	0	2	0	0	2	1	1	1	0	1	1	0	9 件
	0	0	0	57,825	0	0	21,035	4,750	9,425	37,557	0	19,004	47,442	0	197,038
個人募金	2	0	0	3	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	10 件
	40,228	0	0	290	0	5,000	0	0	15,240	0	0	0	0	10,000	70,758
その他の募金	7	5	12	6	2	11	5	2	1	4	5	1	2	12	75 件
	22,710	33,639	13,121	22,633	3,558	95,964	14,584	714	269	4,777	7,484	40	143	59,958	279,594
実績額合計①	19,472	15,857	11,110	7,815	5,818	3,910	1,379	1,993	2,816	885	464	360	1,112	485	73,476 件
	10,938,852	8,483,168	5,856,142	4,258,774	3,133,080	2,196,483	765,707	1,180,153	1,645,162	490,527	251,019	202,244	630,141	3,433,749	43,465,201
目標額 ②	10,954,000	8,932,000	6,159,000	4,484,000	3,255,000	2,283,000	817,000	1,188,000	1,736,000	400,000	259,000	190,000	643,000	3,373,000	44,673,000
目標達成率(%)①/②×100	99.9%	95.0%	95.1%	95.0%	96.3%	96.2%	93.7%	99.3%	94.8%	122.6%	96.9%	106.4%	98.0%	101.8%	97.3 %
前年度最終実績額③	10,962,988	8,932,930	6,159,498	4,494,012	3,265,532	2,285,752	817,312	1,188,427	1,736,367	430,297	259,021	190,153	646,449	3,475,276	44,844,014
実績額比較増減①－③	△ 24,136	△ 449,762	△ 303,356	△ 235,238	△ 132,452	△ 89,269	△ 51,605	△ 8,274	△ 91,205	60,230	△ 8,002	12,091	△ 16,308	△ 41,527	△ 1,378,813

令和7年度いわき市共同募金委員会歳末たすけあい募金実績及び配分結果について

令和7年4月1日～令和8年3月31日現在（単位：円）

	平	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久之浜・大久	本部	計
目標額 ①	5,713,000	5,059,000	3,329,000	2,368,000	1,669,000	1,227,000	424,000	586,000	858,000	311,000	140,000	110,000	347,000	1,155,000	23,296,000
実績額 ②	5,746,210	4,759,735	3,242,788	2,266,664	1,625,225	1,172,329	408,554	586,672	820,772	249,049	135,506	106,422	329,383	1,166,213	22,615,522
目標達成率(%)③＝②／①×100	100.6	94.1	97.4	95.7	97.4	95.5	96.4	100.1	95.7	80.1	96.8	96.7	94.9	101.0	97.1 %
前年度実績額 ④	5,719,826	5,059,604	3,330,128	2,372,613	1,675,028	1,227,596	424,863	586,927	858,065	329,622	140,001	110,610	347,929	1,155,912	23,338,724
実績額比較増減 ②－④	26,384	△ 299,869	△ 87,340	△ 105,949	△ 49,803	△ 55,267	△ 16,309	△ 255	△ 37,293	△ 80,573	△ 4,495	△ 4,188	△ 18,546	10,301	△ 723,202
歳末助け合い見舞金給付事業 寝たきり高齢者世帯	6 3 39,000	1 1 10,000	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	7人 4 世帯 49,000
ひとり暮らし高齢者世帯	61 61 610,000	56 56 560,000	18 18 180,000	18 18 180,000	8 8 80,000	7 7 70,000	6 6 60,000	4 4 40,000	5 5 50,000	8 8 80,000	6 6 60,000	5 5 50,000	7 7 70,000	0 0 0	209人 209 世帯 2,090,000
高齢者のみの世帯	18 8 110,000	12 6 78,000	0 0 0	4 2 26,000	4 2 26,000	2 1 13,000	2 1 13,000	0 0 0	0 0 0	0 0 0	2 1 13,000	4 2 26,000	2 1 13,000	0 0 0	50人 24 世帯 318,000
知的障がい児者世帯	5 3 36,000	6 3 39,000	4 1 19,000	0 0 0	0 0 0	4 2 26,000	0 0 0	2 1 13,000	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	21人 10 世帯 133,000
身体障がい児者世帯	23 7 118,000	3 1 16,000	5 3 36,000	4 1 19,000	3 2 23,000	6 2 32,000	3 1 16,000	0 0 0	5 3 36,000	0 0 0	0 0 0	0 0 0	3 1 16,000	1 1 10,000	56人 22 世帯 322,000
ひとり親世帯	97 32 515,000	170 66 972,000	13 5 74,000	8 2 38,000	22 6 108,000	18 6 96,000	0 0 0	13 5 74,000	9 3 48,000	0 0 0	0 0 0	0 0 0	25 8 131,000	14 5 77,000	389人 138 世帯 2,133,000
その他の世帯	17 6 93,000	45 16 247,000	12 4 64,000	5 2 29,000	2 1 13,000	8 4 52,000	1 1 10,000	0 0 0	3 2 23,000	2 1 13,000	2 1 13,000	7 2 35,000	8 2 38,000	0 0 0	112人 42 世帯 630,000
在宅見舞金配分合計(A)	227 120 1,521,000	293 149 1,922,000	52 31 373,000	39 25 292,000	39 19 250,000	45 22 289,000	12 9 99,000	19 10 127,000	22 13 157,000	10 9 93,000	10 8 86,000	16 9 111,000	45 19 268,000	15 6 87,000	844人 449 世帯 5,675,000
在宅見舞金事務費合計(B)	348,000	258,000	184,000	138,000	102,000	72,000	34,000	44,000	50,000	32,000	34,000	22,000	38,000	12,210	1,368,210
合・計 (C)=(A)+(B)	1,869,000	2,180,000	557,000	430,000	352,000	361,000	133,000	171,000	207,000	125,000	120,000	133,000	306,000	99,210	7,043,210
歳末 ① 介護用防水シーツ給付事業	16 －	10 －	13 －	3 －	12 －	6 －	3 －	6 －	1 －	2 －	10 －	10 －	2 －	21 389,510	115 名 389,510
② ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業	169 －	58 －	30 －	－ －	－ －	23 －	－ －	－ －	－ －	－ －	29 －	51	－ －	360 400,000	400,000
③ 住居環境整備・補修等（障子張替え）サービス事業	3 52,135	3 39,160	1 17,116	1 16,873	0 0	1 18,049	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 36,099	－	11 件 179,432
④ 福祉情報誌配付事業	3,300 －	2,400 －	1,350 －	900 －	1,250 －	1,200 －	350 －	550 －	750 －	400 －	275 －	200 －	350 －	725 1,672,990	14,000 部 1,672,990
⑤ 子育てサロン歳末支援事業	98 48,849	59 23,273	32 15,809	28 14,000	14 6,802	14 7,000	19 9,500	18 9,000	32 16,000	0 0	26 13,000	0 0	15 6,913	7,370	355 名 177,516
⑥ 小規模障がい(児)者通所施設歳末支援事業	776 25 755,054	438 14 351,360	250 7 236,150	72 4 72,000	99 4 97,178	42 2 42,000			7 1 7,000					42,240	1,684 57 施設 1,602,982
⑦ 児童養護施設支援事業	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	265,705	33 名 265,705
⑧ クリスマス支援支援事業	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	182,120	23世帯85名 182,120
⑨ 親子ふれあいバスハイク事業	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	187,940	2世帯7名 187,940
⑩ 年末年始地域ささえあい事業	5 525,000	5 262,618	6 408,000	3 47,000	5 147,000	2 63,000	4 136,000	2 103,000	4 139,656	0 0	2 134,000	3 90,000	0 0	－ 34,100	41 事業 2,089,374
⑪ 歳末生活困窮世帯子ども健全育成事業	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	117,005	3 名 117,005
⑫ 歳末支援地区事業	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 203,000	1 173,000	－ －	2 35,750	2 208,000	1 131,000	1 159,000	－ 5,280	8 事業 915,030
合計 (D)	1,381,038	676,411	677,075	149,873	250,980	130,049	348,500	112,000	162,656	35,750	355,000	221,000	202,012	3,181,975	8,179,604
配分総額 (C)+(D)	3,250,038	2,856,411	1,234,075	579,873	602,980	491,049	481,500	283,000	369,656	160,750	475,000	354,000	508,012	3,281,185	15,222,814

〔募金実績額 22,615,522円－配分総額 15,222,814円＝剰余金 7,392,708円〕 剰余金7,392,708円は福島県共同募金会へ送金